

2016 年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
研究所長名	細井 浩一

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2016 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。

2016 年度、アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、今後の活動の柱として、以下に述べる 3 プロジェクトを選定し、集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは、重点化する研究分野やプロジェクトとして研究所総合計画(5 ヵ年)に挙げたものに該当し、それぞれが学際的・有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させつつ国際化を推進した。また、ARC を中心とした GCOE プログラム(2007-2011 年度)の研究蓄積や体制を基盤とする文学研究科「文化情報学専修」における若手教育実践、文部科学省共同利用共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」運営、平成 27 年度採択の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」(2015-2019 年度)など、本学の教育研究拠点機能を充実・発展させた。

プロジェクト No.1: 文化資源デジタルアーカイブの国際貢献と持続可能化方策確立

当年度は、以下 7 点を推進した。①デジタル化手法の教育と普及:国内外におけるワークショップの開催。学内では、文化情報学専修のインターンシップに連動したプログラムにおいて、特に 3 次元計測 3D モデル化の技術教育を行い、大英博物館の「根付」について、三次元モデルの作成ならびに公開を実施。②文化資源データベースとして必要とされ、さまざまな分野で活用されるシステム(テンプレート)の開発。③ARC 所蔵品の統合的な管理手法と管理データベースの開発による、総合管理システム開発。④ARC 所蔵品・寄託品の内、三次元の素材を使った 3D データベースの実用化。⑤デジタルテキストアーカイブの基盤システム開発。(古典籍や近代書籍 DB からの翻刻システム・全文検索やアノテーション記述可能なテキストアーカイブ DB の β 版)⑥ビデオやオーディオのプレイヤーを組み込んだマルチメディア DB インターフェイスの開発。⑦これらの開発にアンカーとして仕組む持続可能性を担保する基盤システムの継続的な開発。

プロジェクト No.2: 有形・無形文化財のデジタルドキュメンテーションと利活用のための先端的技術の開発

当年度は、以下 7 点を推進した。①祇園祭「八幡山」山建て過程のレーザ計測、高精細透視画像アニメーション作成。②版本・古典籍の紙面情報をデジタル画像化したアーカイブデータに対し、レイアウト解析、文字行の切り出し、続け字で書かれている行中の各文字の切り出しを行い、翻刻を行うためのシステム研究。③八幡山町内の奥田家所蔵の洛中洛外図屏風と、高岡市美術館の勝興寺所蔵の洛中洛外図屏風の高精細画像の撮影を実施、洛中洛外図屏風のポータルサイトに追加するとともに、洛中洛外図屏風比較システムへの取込み。④長江家住宅所蔵物のデジタル化、住い方に関する記録を実施。⑤舞踊や芸能の身体動作データを DB として公開するための、基本システムを完成。⑥ARC で運用する浮世絵 DB や前記のデジタルコンテンツなどを対象としたマルチメディアデータベースの検索と推薦ができるシステムプロトタイプを構築。⑦言語横断レコード同定に関する研究の推進。

プロジェクト No.3: デジタル・アーカイブによる価値創造と社会的応用

当年度は、以下 3 点を推進した。①3D メタバース Second Life を利用した ARC バーチャルミュージアムにおいて、(株)毎日映画社からの寄託資料を三次元アーカイブ資料とハイブリッドさせた服飾史の研究教育環境を制作した。②五条坂京焼登り窯の民俗考古学的調査、友禅図案のデジタル・アーカイブ作業および工房関係者の聞き取り調査を継続的に実施した。③読書アクセシビリティの観点からの図書館資料のデジタル・アーカイブ及び、国会図書館のサービスを通して作成済データの大学間共有を実現した。2016 年 4 月より兵庫県・三田市立図書館において音声読み上げ機能による電子書籍の貸出サービスを開始したが、その後、2017 年 5 月現在、全国で 21 館の公共図書館に導入されることとなった。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	細井 浩一	映像学部	教授	
運営委員	赤間 亮	文学部	教授	
	木立 雅朗	文学部	教授	
	田中 覚	情報理工学部	教授	
	田中 弘美	情報理工学部	教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	矢野 桂司	文学部	教授	
	湯浅 俊彦	文学部	教授	
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授	
	西林 孝浩	文学部	准教授	
	八村 広三郎	情報理工学部	特任教授	
	鈴木 桂子	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(教授)	
	金子 貴昭	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(准教授)	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	稲葉 光行	政策科学部	教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	川越 恭二	情報理工学部	教授	
	島川 博光	情報理工学部	教授	
	田中 聡	文学部	教授	
	中谷 友樹	文学部	教授	
	西浦 敬信	情報理工学部	教授	
	矢野 健一	文学部	教授	
	斉藤 進也	映像学部	准教授	
	古川 耕平	映像学部	准教授	
	河角(赤石)直美	文学部	准教授	
	三須 祐介	文学部	准教授	
	吉田 満梨	経営学部	准教授	
	川嶋 将生	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)	
	長谷川 恭子	情報理工学部	助教	
	原田 智広	情報理工学部	助教	
	李 亮	情報理工学部	講師	
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	福田 一史	衣笠総合研究機構	専門研究員
		山口 欧志	衣笠総合研究機構	専門研究員
		李 増先	衣笠総合研究機構	専門研究員
		BATJARGAL Biligsaikhan	総合科学技術研究機構	専門研究員
		山路 正憲	衣笠総合研究機構	研究員
	補助研究員・リサーチアシ	佐藤 弘隆	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント

	スタント	常木 佳奈	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント	
		加茂 瑞穂	衣笠総合研究機構	補助研究員	
	学振特別研究員 (PD・RPD)				
	博士後期課程院生・一貫 制博士課程 3 回生以上 在籍院生	PANICHKRIANGKRAI Chulapong	情報理工学研究科	D6	
		王 晟	情報理工学研究科	D4	
		生藤 大典	情報理工学研究科	D4	
		玉井 未知留	政策科学研究科	D4	
		川内 有子	文学研究科	D3	
		若林 佑幸	情報理工学研究科	D2	
		大塩 祥剛	情報理工学研究科	D1	
		SONG Yuting	情報理工学研究科	D1	
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)	青山 いずみ	文学研究科	M3	
鬼頭 尚揮		情報理工学研究科	M2		
脇田 夕嘉		情報理工学研究科	M2		
池田 翔武		情報理工学研究科	M1		
伊藤 祐希		文学研究科	M1		
王 嘉韻		情報理工学研究科	M1		
中尾 由香里		文学研究科	M1		
野木 ももこ		文学研究科	M1		
森 和貴		情報理工学研究科	M1		
渡邊 達彦		情報理工学研究科	M1		
NGUYEN Tung Duc		情報理工学研究科	M1		
WEI Zhenao		情報理工学研究科	M1		
客員協力研究員	彬子女王	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	飯塚 隆藤	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	石上 阿希	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	磯田 弦	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	井上 学	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	岩切 友里子	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	植村 要	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	大西 秀紀	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	大矢 敦子	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	岡本 隆明	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	亀田 和子	衣笠総合研究機構	客員研究員		
	河原 大	衣笠総合研究機構	客員研究員		

	木村 文則	衣笠総合研究機構	客員研究員
	桐村 喬	衣笠総合研究機構	客員研究員
	倉橋 正恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
	源城 政好	衣笠総合研究機構	客員研究員
	佐古 愛己	衣笠総合研究機構	客員研究員
	鹿内 菜穂	衣笠総合研究機構	客員研究員
	瀬戸 寿一	衣笠総合研究機構	客員研究員
	高須 奈都子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	高橋 幸恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
	竹内 千代子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	谷 昇	衣笠総合研究機構	客員研究員
	塚本 章宏	衣笠総合研究機構	客員研究員
	土田 勝	衣笠総合研究機構	客員研究員
	富田 美香	衣笠総合研究機構	客員研究員
	中村 恵美	衣笠総合研究機構	客員研究員
	細井 尚子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	本多 健一	衣笠総合研究機構	客員研究員
	前崎 信也	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松岡 恵悟	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松葉 涼子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	松本 節子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	丸川 雄三	衣笠総合研究機構	客員研究員
	矢野 明子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	山本 真紗子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	脇田 航	衣笠総合研究機構	客員研究員
	山口 欧志	衣笠総合研究機構	客員研究員
	奥窪 宏太	衣笠総合研究機構	客員研究員
	竹中 健司	衣笠総合研究機構	客員研究員
	南川 丈夫	衣笠総合研究機構	客員研究員
	武藤 祥子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	竹島 彩加	衣笠総合研究機構	客員研究員
	森野 彰人	衣笠総合研究機構	客員研究員
	安藤 真理子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	大久保 範子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	上田 文	衣笠総合研究機構	客員研究員
	青木 美保子	衣笠総合研究機構	客員研究員

	井川 繭子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	林 于竝	衣笠総合研究機構	客員研究員
	許 婷	衣笠総合研究機構	客員研究員
	楊 曉捷	衣笠総合研究機構	客員研究員
	SALTZMAN-LI Katherine	衣笠総合研究機構	客員研究員
	MIKES Marek	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HUBER Brigitte Iris	衣笠総合研究機構	客員研究員
	BINCSIK Monika	衣笠総合研究機構	客員研究員
	BONNIN Philippe	衣笠総合研究機構	客員研究員
	CARPENTER John	衣笠総合研究機構	客員研究員
	CARPOCA Alessia	衣笠総合研究機構	客員研究員
	CLARK Timothy Thorburn	衣笠総合研究機構	客員研究員
	COMO Michael	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HAFT Alfred	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HONCOOPOVA Helena	衣笠総合研究機構	客員研究員
	JACQUOT Kevin	衣笠総合研究機構	客員研究員
	MARCEAU Lawrence Edward	衣笠総合研究機構	客員研究員
	PELLECCHIA Diego	衣笠総合研究機構	客員研究員
	RESIG John	衣笠総合研究機構	客員研究員
	RODRIGUEZ CUNCHILLOS Alejandra	衣笠総合研究機構	客員研究員
	THOMSEN Hans	衣笠総合研究機構	客員研究員
	TINIOS Ellis	衣笠総合研究機構	客員研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	MARRA Toshie	カリフォルニア大学バークレー校ア ジア図書館	司書
	ZWICKER Jonathan	ミシガン大学日本研究センター	教授
	田中 士郎	BKC 田中弘美研究室	研究者
研究所・センター構成員 計 131 名 (うち学内の若手研究者 計 16 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共 著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・ 号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	石上阿希	暁斎春画	共著	2017年3月	青幻舎	定村来人	PP.18～127、 218～222
2	亀田和子	「若衆～もう一つのジェ ンダー」ジョシュア・モス	翻訳	2016年3月	『もう一つの日本文学史』国 文学研究資料館編。勉誠出	Joshua Mostow	PP.76～86

		トウ著 (亀田和子訳)			版		
3	加茂瑞穂	『国際ワークショップ 学術資料としての『型紙』 一資料の共有化と活用 に向けて 報告書』	共編著	2017年3月	立命館大学アート・リサーチ センター	鈴木桂子	PP.94
4	河角直美	市民参加型GISによる祭礼 景観の復原—参加型GISの 理論と応用	共著	2017年3月	若林芳樹・今井 修・瀬戸寿 一・西村雄一郎編著『みん なで作り・使う地理空間情 報』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・ 河角直美	PP.118~124
5	倉橋正恵	『未刊江戸歌舞伎年代記 集成』	共著	2017年2月	新典社	桑原博行、小池章太 郎、齊藤千恵、光延 真哉	PP.849-896, PP.921-931
6	源城政好	清水寺成就院日記 第2 巻	共著	2016年4月	(株)法蔵館	清水寺史編纂委員会	
7	佐藤弘隆	市民参加型GISによる祭礼 景観の復原—昭和30年以 前の京都祇園祭の山鉾行 事における松原通一	共著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿 一・西村雄一郎編著『参加 型GISの理論・技術・応用』、 古今書院	矢野桂司・河角直美	
8	島川博光	線形代数学に基づくデー タ分析法	共著	2016年9月	共立出版	原田史子, 島川博光	
9	鈴木桂子	『京都の墨流し染・糊流し 染—その系譜と新たな可 能性—』	共編	2016年10月	京都工芸繊維大学美術工 芸資料館/立命館大学ア ート・リサーチセンター 文 部科学省 共同利用・共同 研究拠点「日本文化資源デ ジタル・アーカイブ研究拠 点」	編集執筆 青木美保 子、翻訳 鈴木桂子	PP.27
10	鈴木桂子	『世界民族衣料資料』(増 補版)	共編著	2016年9月	ベストプリント	並木誠士、立命館大 学アート・リサーチセ ンター 文部科学省 共同利用・共同研究 拠点「日本文化資源デ ジタル・アーカイブ研 究拠点」《デジタル・ アーカイブ手法を用 いた近代染織資料の 整理と活用プロジェク ト》、鈴木桂子	
11	鈴木桂子	『国際ワークショップ 学術資料としての『型紙』 一資料の共有化と活用 に向けて 報告書』	共編著	2017年3月	立命館大学アート・リサーチ センター	鈴木桂子・加茂瑞穂	
12	瀬戸寿一	Crisis Mapping Project and Counter-Mapping by Neo-Geographers	共著	2016年9月	University Press of Kentucky, Japan after 3/11: Global Perspectives on the Earthquake, Tsunami, and	Nishimura, Y.	PP.288-304.

					Fukushima Melt-down		
13	瀬戸寿一	参加型GISの理論と応用～ みんなで作り・使う地理空 間情報	共著	2017年3月	古今書院	若林芳樹・今井修・西 村雄一郎 編	PP.174
14	中村恵美	八代目市川団十郎画像資 料集 I	単著	2016年8月	私家版		
15	西浦敬信	文化遺産の記録と再現— —「コト」のデジタルア ーカイブの実現に向けて —	共著	2016年4月	電子情報通信学会誌, Vol.99, No.4	八村広三郎, 田中寛, 西浦敬信, 田中弘美	PP. 287-294
16	BATJARGAL Biligsaikhan	Providing Bilingual Access to Multiple Japanese Humanities Databases: Text Retrieval Using English and Japanese Queries	共著の 別	2016年12月	In Jieh Hsiang, editor, Digital Humanities: Between Past, Present, and Future, National Taiwan University Press	Biligsaikhan Batjargal, Akira Maeda, and Ryo Akama	PP.351～367
17	ペレッキアデ イエゴ	Japanese Traditional Theatre Masks	単著	2016年	Routledge		PP. 160-164
18	ペレッキアデ イエゴ	‘Noh at the Venice Biennale 1957’, ‘Noh and European Practitioners’	単著	2016年	Cambridge UP		PP.46, 515-517
19	Helena Honcoopová	『扇の荘子』英語とチェコ 語	共著の 別	2016年9,12 月	ブラハ、カレル大学出版	Joshua Mostow 康原 真琴	PP. 5 - 216
20	前崎信也	ジュリア・ミーチ著(日本 語訳:前崎信也・清水彩野) 『「千種」と国際美術市場』 『「千種」物語 二つの海を 渡った唐物茶壺』	共著	2016年12月	思文閣出版	竹内順一、岡佳子、 ルイズ・コート、アンド リュウ・M・ワツキー編	PP.212-230
21	前崎信也	前崎信也編『融合する工芸 —旅に出たヤドカリのは なし』	共著	2016年11月	高島屋美術部	田辺小竹、若宮隆 志、小黒アリサ、笹井 文恵、加藤亮太郎、 マニュエラ・ポール・ キャンバリエ著	
22	前崎信也	『没後 50 年 河井寛次郎 展』(作品名の英訳:前崎信 也)	共著	2016年9月	毎日新聞社		
23	前崎信也	前崎信也「自由を手に入れ た金のカケラたち—山本 茜と截金ガラス」、山本茜 『截金ガラス—斎王の旅 —』	共著	2016年5月	山本茜	山本茜、酒忠行	
24	前田亮	Providing Bilingual Access to Multiple Japanese Humanities Databases: Text Retrieval Using English	共著	2016年12月	National Taiwan University Press	Biligsaikhan Batjargal, Akira Maeda, and Ryo Akama	PP.351-367

		and Japanese Queries (In Jieh Hsiang, editor, Digital Humanities: Between Past, Present, and Future)					
25	矢野桂司	Historical Atlas (in Korean)	単著	2017年2月	Northeast Asian History Foundation	Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities (in Korean)	PP.175-191
26	矢野桂司	市民参加型GISによる祭礼景観の復原—昭和30年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通一	共著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編著『参加型GISの理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	PP.118-124
27	矢野桂司	ジオデザインにおける市民参加の可能性	単著	2017年3月	若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編著『参加型GISの理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司	PP.22-27
28	矢野健一	尾関清子先生寄贈編物関連資料目録	共編著	2017年3月	立命館大学環太平洋文明研究センター	末松万由子・矢野健一	
29	湯浅俊彦	デジタルが変える出版と図書館—立命館大学文学部湯浅ゼミの1年	編著	2016年4月	出版メディアパル		PP. 2-3, PP. 7-24, PP.229-244

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その六 京焼 登り窯の現在、煙突と公害	単著	2017年3月	調査情報、no535		PP34-39	無
2	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その五 友禅に描かれた戦争 「韓国併合」と「爆弾三勇士」	単著	2017年1月	調査情報、no534		PP28-33	無
3	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その四 京町家と「防空壕」—「逃げるな、火を消せ」—	単著	2016年11月	調査情報、no533		PP40-45	無
4	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その三	単著	2016年9月	調査情報、no532		PP8-14	無
5	木立雅朗	近現代遺跡・戦争遺跡の現在—考古学と銃刀法と社会						

		-						
6	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その二 信楽・川越・沖繩を結ぶ陶器製手榴弾と陶器製地雷	単著	2016年7月	調査情報、no531		PP33-39	無
7	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その一 清水焼の陶器製手榴弾	単著	2016年5月	調査情報、no530		PP2-7	無
8	木立雅朗	京都の土と窯-発掘現場からみた伝統工芸と京都の土と石の関係	単著	2017年1月	立命館文学、河角龍典教授追悼記念論集		PP40-52	無
9	木立雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その一 清水焼の陶器製手榴弾	単著	2016年5月	調査情報、no530		PP2-7	無
10	木立雅朗	Comparisons of Different Configurations for Image Colorization of Cultural Images Using a Pre-trained Convolutional Neural Network	共著	2016年9月	Proceedings of JADH 2016 Conference	Tung Nguyen, Ruck Thawonmas, Keiko Suzuki,	PP60-63	有
11	木立雅朗	五条坂の登り窯と京都の土	単著	2016年5月	なごみ、438号		PP36-41	無
12	飯塚隆藤	明治期における河川舟運の地域的变化ー淀川流域・木曾三川流域・利根川流域を中心にー	単著	2017年3月	愛知大学地域政策学センター、地域政策学ジャーナル、6巻2号		PP. 27~47	無
13	石上阿希	「山東京伝艶本・春画目録稿」	単著	2016年7月	岩波書店、『文学』17-4号		PP. 169~181	無
14	井上学	関西私鉄に見る都市へのまなざしの変化	単著	2016年5月	鉄道ジャーナル社、鉄道ジャーナル、595号		PP. 92~93	無
15	井上学	人口減少時代における地域交通のあり方と自治体の役割	単著	2016年9月	自治体研究社、住民と自治、641号		PP. 6~11	無
16	岩切友里子	北斎「百人一首うばがえとき」の画	単著	2017年3月	立命館大学アート・リサーチセンター、アー	赤間亮	PP. 53~64	有

		想と『百人一首図 絵』			ト・リサーチ 17 号			
17	大西秀紀	座敷唄収録音源の 市販資料一覧	単著	2016年 7月	東洋書院、座敷唄集成	井澤壽治、久保田敏 子	PP.167~181	無
18	大西秀紀	オリエントの謡曲 レコード	単著	2016年 10月	京都市立芸術大学、日 本伝統音楽研究センタ ー研究報告 11	藤田隆則、高橋葉子、 丹羽幸江、大谷節子、 味方健、田草川みず ぎ、中尾薫、恵阪悟、 他	PP. 255~270	無
19	大西秀紀	歌舞伎音楽のレコ ード 芝居囃子 忠 臣蔵十二月	単著	2017年 2月	(社) 伝統歌舞伎保存 会、平成 29 年版歌舞伎 に携わる演奏家	鈴木英一、竹内有一、 前島美保、土田牧子、 朝原恒男	PP.46~51	無
20	金子貴昭	浮世絵研究におけ る板木研究の課題	単著	2016年 11月	醍醐書房、美術フォー ラム 21、34 巻	金子貴昭	PP. 65-71	無
21	金子貴昭	野風呂『續俳諧日 誌』第一回(昭和十 九年元旦から同月 十五日まで)	共著	2017年 2月	京鹿子発行所、京鹿子、 1110 号	小林孔、金子貴昭、 高井悠子、竹内千代 子、松本節子、吉田 星子、高木晶子(解 読・校訂)	PP. 16-25	無
22	金子貴昭	野風呂『續俳諧日 誌』第二回(昭和十 九年一月十六日か ら二月五日)	共著	2017年 3月	京鹿子発行所、京鹿子、 1111 号	小林孔、金子貴昭、 高井悠子、竹内千代 子、松本節子、吉田 星子、高木晶子(解 読・校訂)	PP. 16-24	無
23	亀田和子	A Pair of Architecture in Landscape Paintings Attributed to Ri Shōbun and His Various Attributions in 15th -16th Century Japan	単著	2016年 10月	<i>Kaikodo Journal</i> <i>XXXII</i>	Howard Rogers	PP. 3~7	無
24	川内有子	武士道ブームと英 訳『仮名手本忠臣 蔵』一井上十吉訳 の初版と第 2 版と の比較を通じて一	単著	2017年 3月	立命館大学、アート・リ サーチ、17 号		PP. 45~52	有
25	川越恭二	楽曲遷移の滑らか さを考慮したプレ イリスト推薦	共著	2016年 12月	情報処理学会論文誌デ ータベース (TOD, 9 巻 4 号	池田翔武, 奥健太	PP. 1~5	有
26	川越恭二	Toward Fashion- brand Recommendation Systems using	共著	2016年 9月	Journal of Knowledge Engineering, Vol. 2, No. 3	Yuka Wakita, Kenta Oku	PP.128-131	有

		Deep-Learning: Preliminary Analysis						
27	川嶋將生	戦国期における武 家 B 故実書一室町 幕府行事との関連 から一	单著	2016年 7月	『日本文学』757号	なし	PP. 34-42	依頼
28	河角直美	近代京都の景観と 金閣寺	单著	2017年 1月	立命館大学言語文化研 究所、立命館言語文化 研究、28巻3号		PP. 41~48	無
29	河角直美	明治中期における 京都旅行一与謝野 晶子の記録から一	单著	2017年 3月	立命館人文学会、立命 館文学、650号		PP. 77~78	無
30	佐藤弘隆	京都祇園祭の山鉾 行事における運営 基盤の再構築 一 現代都市における 祭礼の継承一	单著	2016年 11月	人文地理68-3		PP. 273-296	有
31	鹿内菜穂	Statistical Analysis of Feminine Movements in Japanese Traditional Dance	单著	2016年 10月	Institute of Control, Robotics and Systems, ICCAS 2016 Proceedings	Nao Shikanai	PP.1366-1370	無
32	島川博光	Recommendation of Tour Route from Tourist Motivation Improving Serendipity Occurrence	共著	2017年 2月	International Journal of Latest Research in Engineering & Technology, (IJLRET) (3巻2号)	Momoko Kato, HiromitsuShimakawa	PP.26-36	
33	鈴木桂子	Development of a Support Tool for Categorizing Ukiyo-e's Pictorial Themes: A System to Deal with Visual Features and Similarities	共著	2016年 7月	Digital Humanities 2016: Conference Abstracts	斎藤進也、鈴木桂子	PP.880-882	有
34	鈴木桂子	Comparisons of Different Configurations for Image Colorization of	共著	2016年 9月	JADH2016	Tung Nguyen, Ruck Thawonmas, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi	PP.60-63	有

		Cultural Images Using a Pre-trained Convolutional Neural Network						
35	鈴木桂子	「国際的な型紙研究の基盤構築と活用に向けて」	単著	2017年 3月	『国際ワークショップ 学術資料としての『型紙』—資料の共有化と活用に向けて 報告書』	鈴木桂子	4-5p	無
36	瀬戸寿一	An Easy Infrastructure Management Method Using On-Board Smartphone Images and Citizen Reports by Deep Neural Network	共著	2016年 6月	Proceedings of the 2nd International Conference on IoT in Urban Space	Maeda, H., Sekimoto, Y.	3p.	有
37	瀬戸寿一	Lightweight Road Manager: Smartphone-based Automatic Determination of Road Damage Status by Deep Neural Network	共著	2016年 11月	Proceedings of the 5th International Workshop on Mobile Geographic Information Systems (MobiGIS2016)	Maeda, H., Sekimoto, Y.	9p.	有
38	瀬戸寿一	平成28年4月熊本地震における携帯電話位置情報を用いた避難所の混雑度推計	共著	2016年 10月	地理情報システム学会 講演論文集、25	樫山武浩・関本義秀	4p.	無
39	瀬戸寿一	G 空間情報センターにおける多様な地理空間情報の処理機能について	共著	2016年 10月	地理情報システム学会 講演論文集、25	関本義秀・大伴真吾・嘉山陽一・菊地英一	4p.	無
40	瀬戸寿一	GIS オープン教材の開発と GitHub を用いた公開	共著	2016年 10月	地理情報システム学会 講演論文集、25	山内啓之・小口高	4p.	無
41	瀬戸寿一	オープンストリートマップに基づく交通ネットワークデータの品質評価手法の検討	共著	2016年 10月	地理情報システム学会 講演論文集、25	金杉洋・関本義秀・柴崎亮介	4p.	無
42	瀬戸寿一	地理空間情報のオ	共著	2016年	映像情報メディア学会	関本義秀	PP.10-16	無

		オープンデータ化と活用を通じた地域課題解決の試みー「アーバンデータチャレンジ」を事例に		11月	誌、70(6)			
43	THAWONMAS Ruck	UKI: Universal Kinect-type-controller by ICE Lab	共著	2017年1月	Software: Practice and Experience	Pujana Paliyawan and Ruck Thawonmas	DOI: 10.1002/spe.2474	有
44	THAWONMAS Ruck	対戦格闘ゲームにおけるゲームAIや操作法の違いがプレイヤーの感じる面白さに与える影響の分析	共著	2016年11月	情報処理学会論文誌, vol. 57, no. 11,	石原 誠, 宮崎 泰地, 原田 智広, ターウオンマツ ラック	PP. 2414-2425	有
45	THAWONMAS Ruck	Borderline Oversampling in Feature Space for Learning Algorithms in Imbalanced Data Environments	共著	2016年8月	IAENG International Journal of Computer Science, vol. 43, no. 3	Kittipat Savetratanakaree, Kingkarn Sookhanaphibarn, Sarun Intakosum and Ruck Thawonmas	PP. 363-373	有
46	THAWONMAS Ruck	Health Promotion AI for Full-body Motion Gaming	共著	2017年3月	Proc. of 2017 AAAI Spring Symposium Series (Well-Being AI: From Machine Learning to Subjective Oriented Computing)	Pujana Paliyawan, Takahiro Kusano, Yuto Nakagawa, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas	PP. 720-725	有
47	THAWONMAS Ruck	AI for Game Spectators: Rise of PPG	共著	2017年2月	Proc. of AAAI 2017 Workshop on What's next for AI in games	Ruck Thawonmas and Tomohiro Harada	PP. 1032-1033	有
48	THAWONMAS Ruck	Applying and Improving Monte-Carlo Tree Search in a Fighting Game AI	共著	2016年11月	Proc. of the 13th International Conference on Advances in Computer Entertainment Technology (ACE 2016)	Makoto Ishihara, Taichi Miyazaki, Chun Yin Chu, Tomohiro Harada, and Ruck Thawonmas	DOI: 10.1145/3001773.3001797	有
49	THAWONMAS Ruck	Piano Learning Application with Feedback Provided by an AR Virtual Character	共著	2016年10月	Proc. of the 5th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2016)	Carlos A Torres Fernandez, Pujana Paliyawan, Chu Chun Yin, and Ruck Thawonmas	PP. 187-188	有

50	THAWONMAS Ruck	Towards Ergonomic Exergaming	共著	2016年 10月	Proc. of the 5th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2016)	Pujana Paliyawan and Ruck Thawonmas	PP. 321-322	有
51	THAWONMAS Ruck	Virtual Reality of Fire Evacuation Training in 3D Virtual World	共著	2016年 10月	Proc. of the 5th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2016)	Kingkarn Sookhanaphibarn Worawat Choensawat Komal Narang, Pujana Paliyawan, Ruck Thawonmas	PP. 323-324	有
52	THAWONMAS Ruck	Application of Monte-Carlo Tree Search in a Fighting Game AI	共著	2016年 10月	Proc. of the 5th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2016)	Shubu Yoshida, Makoto Ishihara, Taichi Miyazaki, Yuto Nakagawa, Tomohiro Harada, and Ruck Thawonmas	PP. 623-624	有
53	THAWONMAS Ruck	Efficient Implementation of Breadth First Search for General Video Game Playing	共著	2016年 10月	Proc. of the 5th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2016)	Suguru Ito, Zikun Guo, Chun Yin Chu, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas	PP. 625-626	有
54	THAWONMAS Ruck	Position-based Reinforcement Learning Biased MCTS for General Video Game Playing	共著	2016年 9月	Proc. of 2016 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG 2016)	Chun-Yin Chu, Suguru Ito, Tomohiro Harada, and Ruck Thawonmas	PP. 444-451	有
55	THAWONMAS Ruck	Comparisons of Different Configurations for Image Colorization of Cultural Images Using a Pre- trained Convolutional Neural Network	共著	2016年 9月	Proc. of the 6th Conference of Japanese Association for Digital Humanities (JADH 2016)	Tung Nguyen, Ruck Thawonmas, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi	PP. 60-63	有
56	THAWONMAS Ruck	Procedural Generation of Angry Birds Levels with Adjustable Difficulty	共著	2016年 7月	Proc. of the 2016 IEEE Congress on Evolutionary Computation (CEC 2016)	Misaki Kaidan, Tomohiro Harada, Chun Yin Chu and Ruck Thawonmas	PP. 1311-1316	有
57	THAWONMAS	An Improvement	共著	2016年	Proc. of the 2016	Kazuki Mori, Tung	PP. 103-106	有

	Ruck	of Matrix Factorization with Bound Constraints for Recommender Systems		7月	5th IIAI International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2016)	Nguyen, Tomohiro Harada, and Ruck Thawonmas		
58	高須奈都子	「帯締」の言語的発生と定着の時期—「帯留」からの分化に関する一考察	単著	2017年3月	服飾文化学会 服飾文化学会誌〈論文編〉Vol. 7 No. 1 2016		PP.25~40	有
59	高須奈都子	近代の「きもの」図案にみる吉祥文様としての鶴と連繋するモチーフの変化—近代化による価値の遷移の影響 立命館大学アート・リサーチセンターの資料を中心に—	単著	2017年3月	立命館大学アート・リサーチセンター紀要 アート・リサーチ Vol. 17		PP.13~28	有
60	竹内千代子	落柿舎三世山本泰溪と去来百回忌	単	2017年3月	京都俳文学研究会、俳文学研究、第67号	無	PP. 3~4	無
61	田中覚	文化遺産の記録と再現 —— 「コト」のデジタルアーカイブの実現に向けて ——	共著	2016年4月	電子情報通信学会誌 (99巻4号)	八村広三郎, 田中覚, 西浦敬信, 田中弘美	PP.287-294	
62	田中覚	論理演算に基づく, 日本伝統家屋のレーザ計測点群データのセグメンテーションと半透明可視化への応用	共著	2016年4月	可視化情報学会論文集 (36巻4号)	王晟, 長谷川恭子, 徐睿, 岡本篤志, 田中覚	PP.16-23	
63	田中覚	3次元計測データのための正しい奥行き感を持った透視可視化	単著	2016年5月	測量(66巻5号)	田中覚	PP.30-31	
64	田中覚	See-through Imaging of Laser-Scanned 3D Cultural Heritage Objects based on Stochastic Rendering of Large-Scale	共著	2016年7月	ISPRS Ann. Photogramm. Remote Sens. Spatial Inf. Sci. (Proc. XXIII ISPRS Congress 2016, Prague, July 12-19, 2016) (III巻5号)	S. Tanaka, K. Hasegawa, N. Okamoto, R. Umegaki, S. Wang, M. Uemura, A. Okamoto, and K. Koyamada,	PP.73-80	

		Point Clouds						
65	田中覚	発光粒子モデルに基づく医用画像の高精細な3次元融合可視化	共著	2016年7月	インナービジョン(31巻7号)	長谷川恭子, 田中覚	PP.44-47	
66	田中覚	Visualizing the Architectural Structure of a Historical Building by Clustering its Laser-scanned Point Cloud	共著	2016年10月	Proc. 16th Asia Simulation Conference and SCS Autumn Simulation Multi-Conference, Beijing, China, October 8-11, 2016, pp. 3-12, Springer 2016.	Wang Sheng, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka	3-12p	
67	田中覚	文化遺産の記録と再現——「コト」のデジタルアーカイブの実現に向けて——	共著	2016年10月	電子情報通信学会誌(99巻4号)	八村広三郎, 田中覚, 西浦敬信, 田中弘美	PP.287-294	
68	田中聡	京都学の研究素材としての「戦後教育資料」	単著	2017年1月	立命館大学人文学会、立命館文学、第649号		PP. 66-77	無
69	谷昇	書評:佐伯智広『中世前期の政治構造と王家』	単著	2016年3月	『日本史研究』643、2016年		PP. 78~85	
70	塚本章宏	GISを用いた近代京都出版図の構図と類型の分析	単著	2016年10月	地理情報システム学会講演論文集, 2016	塚本章宏	CDROM	無
71	常木佳奈	一九六一年頃の〈京都〉における人びとの心情——川端康成『古都』の再検討——	単著	2016年11月	京都民俗学会, 京都民俗, 34号		PP.45-56	有
72	長谷川恭子	論理演算に基づく、日本伝統家屋のレーザ計測点群データのセグメンテーションと半透明可視化への応用	共著	2016年4月	可視化情報学会論文集, Vol. 36, No. 4	王晟, 長谷川恭子, 徐睿, 岡本篤志, 田中覚	PP.16-23	有
73	長谷川恭子	See-Through Imaging of Laser-scanned 3D Cultural Heritage Objects based on Stochastic	共著	2016年7月	ISPRS Ann. Photogramm. Remote Sens. Spatial Inf. Sci., III-5	S. Tanaka, K. Hasegawa, N. Okamoto, R. Umegaki, S. Wang, M. Uemura, A. Okamoto, and K. Koyamada,	PP. 73-80	有

		Rendering of Large-Scale Point Clouds						
74	八村広三郎	文理連携の系譜—その歴史・現状と可能性—	単著	2017年 3月	立命館大学アトリサーチセンター紀要, Vol. 17		PP. 3-10	無
75	八村広三郎	文化遺産の記録と再現—コトのデジタル・アーカイブに向けて	共著	2016年 4月	電子情報通信学会誌 Vol. 99 No. 4	田中覚, 西浦敬信, 田中弘美	PP.287-294	無
76	八村広三郎	Multisensory Integration in the Virtual Hand Illusion with Active Movement	共著	2016年	BioMed Research International, Vol. 2016	W. Choi, L. Li, S. Satoh,		有
77	BATJARGAL Biligsaikhan	Design and Prototype Implementation of a Federated Search System for Multiple Japanese Humanities Databases.	単著	2016年 4月	International Journal of Advances in Computer Science and Its Applications, Vol. 6, No. 1	Biligsaikhan Batjargal	PP. 43~47	無
78	福田一史	大規模災害発生時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	共著	2016年 11月	立命館大学文学部, 立命館地理学, 28号	谷端郷, 米島万有子, 中谷友樹, & 細井浩一	PP. 39-54	有
79	福田一史	家庭用ゲームソフトのタイトルに関する研究—DBを活用した文字数・文字種の観点からみたマクロ的分析—	共著	2017年 3月	アトリサーチセンター, アトリサーチ, 17号	井上明人, 梁 宇熹, シン・ジュヒョン, 向江駿佑, & 細井浩一		有
80	福田一史	ゲーム DB のためのデータモデルに関する検討: LOD の適用を主たる課題として	共著	2017年 3月	日本デジタルゲーム学会, 日本デジタルゲーム学会 2016 年度年次大会予稿集	井上明人, & 細井浩一	PP. 22-25	有
81	福田一史	何が「重要」なゲームなのか?—賞、売上、博物館などにおけるゲームタイトル選出の偏り—	共著	2017年 3月	日本デジタルゲーム学会, 日本デジタルゲーム学会 2016 年度年次大会予稿集	井上明人	PP. 30-33	有
82	福田一史	Proposal and Validation of	共著	2016年 8月	Replaying Japan, Replaying Japan 2016	井上明人, & 細井浩一	PP. 59-60	有

		the Data Model of Video Game Database			Conference Abstracts			
83	福田一史	Distinct Difference Game Titles between Japanese Context and English Context	共著	2016年 8月	Replaying Japan, Replaying Japan 2016 Conference Abstracts	井上明人	PP. 74-80	有
84	福田一史	The Design and Development of Turntable-type User Interface for Data-Browsing: A Case of Video Game Archives	共著	2016年 8月	Replaying Japan, Replaying Japan 2016 Conference Abstracts	斎藤慎也, & 飯田和敏	PP. 41	有
85	細井浩一	京都の染織文化の継承と革新～次世代情報技術を用いた染織ビジネスのブランド化	単著	2016年 6月	『京染と精練染色』(67巻1号)		1-7p	無
86	細井浩一	クリエイティブ産業としての伝統工芸をく見せる～3D 仮想空間におけるアーカイブと利活用環境	単著	2016年 6月	『産業学会第 54 回全国研究会予稿集』		PP.67-70	無
87	細井浩一	Proposal and Validation of the Data Model of Video Game Database	共著	2016年 8月	Proceedings of Replaying Japan 2016	Kazufumi Fukuda, Akito Inoue	PP.59-60	有
88	細井浩一	大規模災害発生時の帰宅困難に関わる学生の認知距離	共著	2016年 11月	『立命館地理学』(28号)	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹	PP.39-54	有
89	細井浩一	ゲーム DB のためのデータモデルに関する検討: LOD の適用を主たる課題として	共著	2017年 3月	『日本デジタルゲーム学会 2016 年次大会予稿集』	福田一史・井上明人	PP.22-25	有
90	前崎信也	前崎信也「世界のアートと日本の工芸を「融合」させる道を求めて」	単著	2017年 1月	株式会社サン・アート、『月刊美術』497号		PP. 52-55	無
91	前崎信也	前崎信也「京焼の	単著	2016年	阿部出版、『炎芸術』127		PP.54-65	無

		あゆみ」		8月	号			
92	前崎信也	前崎信也「帝室技芸員としての三代清風与平」	单著	2016年5月	近代国際陶磁研究会『近代陶磁』17号		PP.7-18	無
93	前田亮	Named Entity Extraction from digitized texts of Mongolian Historical Documents in Traditional Mongolian Script	共著	2016年7月	Conference Abstracts of Digital Humanities 2016	Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu, and Akira Maeda	PP.734-735	有
94	前田亮	Identifying the Same Ukiyo-e Prints from Databases in Dutch and Japanese	共著	2016年7月	Conference Abstracts of Digital Humanities 2016	Taisuke Kimura, Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, Fuminori Kimura, and Akira Maeda	PP.822-824	有
95	前田亮	Entity Linking of Artists Names in Japanese Music Articles	共著	2016年7月	Proceedings of the 5th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI AAI 2016)	Tomoaki Urata and Akira Maeda	PP.179-184	有
96	前田亮	A Japanese-Chinese Cross-Language Entity Linking Method with Entity Disambiguation Based on Document Similarity	共著	2016年9月	International Journal of Knowledge Engineering (2巻3号)	Xiang Song, Jialiang Zhou, Fuminori Kimura, and Akira Maeda	PP.122-127	有
97	前田亮	Cross-Language Record Linkage using Word Embedding driven Metadata Similarity Measurement	共著	2016年10月	Proceedings of the 15th International Semantic Web Conference (ISWC 2016) Posters and Demonstrations Track	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	4p	有
98	前田亮	Proper Noun Recognition in Cross-Language Record Linkage by Exploiting Transliterated Words	共著	2016年11月	Proceedings of the 20th International Conference on Asian Language Processing (IALP 2016)	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	PP.83-86	有

99	前田亮	Cross-language Entity Linking Adapting to User's Language Ability	共著	2017年 3月	Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2017 (IMECS2017)	Jialiang Zhou, Fuminori Kimura, and Akira Maeda	PP.24-29	有
100	松葉涼子	Fleurs du mal: Onnagata (Female-Role Specialists) and Nanshoku (Male-Male Sex) in Edo-period Kabuki	単著	2016年 5月	ジョシュア・モストウ、アサト・イケダ編「A Third Gender: Beautiful Youths in Japanese Edo-Period Prints and Paintings (1600-1868)」		PP. 40~51	有
101	松本節子	千代倉東店俳諧等文書(下)	共	2016年	芸文稿の会、芸文稿、第9号	小林孔、竹内千代子、高井悠子	PP. 1~40	無
102	松本節子	『新華摘』の大原・貴船紀行	単	2017年 3月	京都俳文学研究会、俳文学研究、第67号		PP. 2~3	有
103	松本節子	野風呂『続俳諧日誌』(翻刻)	共	2017年 2月	京鹿子発行所、京鹿子第1110号	小林孔、竹内千代子、高井悠子、金子貴昭、吉田星子、高木晶子	PP. 16~25	無
104	松本節子	野風呂『続俳諧日誌』(翻刻)	共	2017年 3月	京鹿子発行所、京鹿子第1111号	小林孔、竹内千代子、高井悠子、金子貴昭、吉田星子、高木晶子	PP. 16~25	無
105	矢野桂司	個人の交通行動と近隣環境に関するジオデモグラフィクス分析	共著	2016年 12月	GIS-理論と応用(25巻1号)	上杉昌也・矢野桂司	PP. 11-22	
106	矢野桂司	『平安京オーバーレイマップ』の開発と拡張に関する一考察	単著	2017年 2月	立命館文学(649号)	矢野桂司・今村聡・高野明彦・阿辺川武	PP.196-185	
107	矢野桂司	GISをベースとした国勢調査のデータ公開の現状と課題—日本と英国の比較を通して—	単著	2017年 3月	立命館文学(650号)	矢野桂司	PP.263-282	
108	山口欧志	Landscape archaeology of Hakusan worship	単著	2016年 8月	The Eighth World Archaeological Congress Book of Abstracts		PP. 320	有
109	山口欧志	Human resource development in the field of digital documentation of cultural	単著	2016年 8月	The Eighth World Archaeological Congress Book of Abstracts		PP. 195	有

		heritage in Mongolia						
110	山口欧志	SfM-MVS による文化遺産の計測	単著	2016年7月	文化財写真研究 7		PP.14-17	無
111	山口欧志	多焦点画像処理による歴史芸術文化遺産の詳細記録	単著	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会研究発表要旨集		PP. 340-341	有
112	山口欧志	歴史芸術文化遺産の3D デジタル資源化とその活用	共著	2016年6月	アート・ドキュメンテーション学会 2016 年度年次大会予稿集		PP.28-33	有
113	山口欧志	矢穴の非接触三次元計測による石割技法の検討	単著	2016年5月	日本考古学協会第 82 回総会研究発表要旨		PP.220-221	有
114	湯浅俊彦	これからの図書館の可能性を探る	単著	2016年5月	子どもの文化(48 巻 5 号)	湯浅俊彦	PP. 21-25	
115	湯浅俊彦	書評『図書館を変える！ウェブスケールディスカバリー入門』	単著	2016年7月	専門図書館(278 号)	湯浅俊彦		
116	湯浅俊彦	指定管理者制度が切り拓く次世代型公共図書館の可能性	単著	2017年2月	出版ニュース(2437 号)	湯浅俊彦	PP. 4-11	
117	李増先	ロックハートコレクションの行方：ケンブリッジ大学図書館までの道のり	単著	2016年5月	日本比較文化学会、2016 年度日本比較文化学会国際学術大会予稿集、No. 34		PP.61	有
118	李亮	Multisensory Integration in the Virtual Hand Illusion with Active Movement	共著	2016年9月	BioMed Research International, Volume 2016, Article ID 8163098	W. Choi, L. Li, S. Satoh, and K. Hachimura	9 pages	有
119	脇田航	没入型 VR 環境における舞踊動作訓練システム	共著	2017年3月	電気学会論文誌C, 137 巻, 3 号	脇田 航, 齊藤充行, 小林康秀	PP. 495~501	有
120	脇田航	人工指による押下感解析に基づくタッチパネルへのテクスチャベースの押下感呈示システム	共著	2016年8月	電気学会論文誌C, 136 巻, 8 号	脇田 航, 齊藤充行, 小林康秀	PP. 1092~1099	有
121	脇田航	人工指による触知覚解析に基づく硬軟感および摩擦感推定法	共著	2016年8月	電気学会論文誌C, 136 巻, 8 号	脇田 航, 齊藤充行, 小林康秀	PP. 1085~1091	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	木立雅朗	須恵器の大甕製作技術とロクロ	2017年3月	窯跡研究会・羅州文化財研究会・立命館大学歴史考古学ゼミ検討会、立命館大学朱雀キャンパス、京都市	
2	木立雅朗	【招待】戦前の友禅図案から見た女性と戦争ー戦争柄図案と裏打ち文書を中心にー	2016年7月	女性史総合研究会 第190回例会、ウイングス京都、京都市	
3	木立雅朗	近現代登り窯の発掘調査ー京都市井野祝峰窯・奈良市赤膚山元窯の事例	2016年5月	日本考古学協会第82回総会 研究発表ポスターセッション、東京学芸大学、東京都	岡田麻衣子
4	飯塚隆藤	淀川流域における近代河川舟運の地域的変化に関する検討ー歴史GISデータベースを用いてー	2016年6月	名古屋地理学会2016年度研究報告会、中部大学、名古屋市	
5	飯塚隆藤	淀川流域における近代河川舟運の変化に関する地理学的研究ー歴史GISデータベースを用いてー	2016年9月	第164回地理学サロン、駒澤大学、東京都世田谷区	
6	飯塚隆藤	明治期資料からみた三遠の河川舟運ー歴史GISデータベースの構築にむけてー	2017年1月	2016年度越境地域政策研究フォーラム、愛知大学、豊橋市	
7	飯塚隆藤	明治期河川舟運GISデータベースの構築とその活用ー天竜川流域を事例にー	2017年2月	愛知大学中部地方産業研究所第16回「地域・産業・大学」公開研究、愛知大学、豊橋市	
8	石上阿希	「春画を拒絶する、春画を見直すー明治から現代まで」	2016年4月	日文研共同研究会「明治日本の比較文明史的考察ーその遺産の再考ー」、日文研	
9	石上阿希	「春画・艶本享受の実態を明らかにするためにー享受者・規制・流通」	2017年3月	創造産業の持続的発展に関する研究会、同志社大学	
10	井上学	バルセロナにおける総合的な都市交通の計画思想と取り組み	2016年6月	日本交通計画協会エッセンシャルセミナー、公益社団法人 日本交通計画協会、東京都文京区	小美野智紀、片岸将広、ジャウマ・バルセロ他
11	井上学	バルセロナの総合的な都市交通戦略からみたモビリティのー考察～なぜモビリティは必要なのか～	2016年7月	日本モビリティ・マネジメント会議 第11回大会、子規記念博物館、松山市	小美野智紀、片岸将広、ジャウマ・バルセロ他
12	岩切友里子	【招待】北斎「百人一首うばがえとき」の画想と『百人一首図絵』	2016年11月	北斎研究プロジェクト ワークショップ:立命館大学 アート・リサーチセンター	

13	岩切友里子	【招待】北斎 横長判摺物の異版—音曲関係の場合—	2016年11月	北斎研究プロジェクト ワークショップ：学習院大学	
14	大西秀紀	京都のレコード会社 東洋蓄音器・オリエントレコードについて	2016年3月	藝能史研究会3月例会、キャンパスプラザ京都、京都市	なし
15	大西秀紀	オリエントレコードの成立について	2016年3月	プロジェクト研究「歴史的音源から見る三味線音楽の旋律型研究」、京都市立芸術大学、京都市	山田智恵子
16	大西秀紀	戦後関西歌舞伎の音源	2016年3月	大阪芸能懇話会3月例会、難波生涯学習センター、大阪市	肥田皓三
17	金子貴昭	立命館大学アート・リサーチセンターの版画関連データベースと東アジア版画共同研究への応用の可能性	2016年5月	7次原州世界古版画文化祭国際学術大会、韓国古版画博物館（韓国・原州市）	金子貴昭
18	金子貴昭	続・日本近世期の板木現存状況	2016年10月	東亜古代彫版印刷与版片国際学術検討会、揚州会議中心（中国・揚州市）	金子貴昭
19	亀田和子	“Presence and Absence in Japanese Landscape Imagery”	2017年1月	the Twenty-Third Annual Japan Studies Association Conference, the Hyatt Place Waikiki Beach in Honolulu	Karen Frasier
20	亀田和子	“The Role of Copying in the Medieval Buddhist Pictorial Tradition”	2016年6月	Utsushi: Copying Buddhist Hopes” AAS-IN-ASIA CONFERENCE 2016 “Horizons of Hope 同支社大学	Sherry Fowler
21	加茂瑞穂	型紙データベース構築から活用に向けて	2016年10月	国際ワークショップ「学術資料としての『型紙』—資料の共有化と活用に向けて」	
22	川内有子	雑誌書評を用いた翻訳の受容研究—『忠臣蔵』翻訳を通じた読書環境へのアプローチ	2016年7月	ARC セミナー、立命館大学アートリサーチセンター	
23	川内有子	The readership of 47 ronins among the westerners in the 1870s : comparative study of Mitford's introduction and Dickins's translation	2016年9月	European Association of Japanese Resources Studies、ブカレスト大学	
24	川内有子	First Readers of Tales of Old Japan by A. B. Mitford —from the Survey of Digitalized English Magazines	2016年12月	国際日本学会、立命館大学	

25	川内有子	井上十吉の英訳『仮名手本忠臣蔵』の初版と第二版の比較―「武士道」の近代的解釈の普及と関連して―	2016年12月	日本比較文化学会、支部合同例会、同志社大学	
26	川内有子	A. B. Mitfordによる四十七士の紹介―トラベル・ライティングから文化研究への移行	2017年3月	日本比較文化学会、関西支部建研例会、同志社大学	
27	川越恭二	Ukiyo-e Recommendation based on Deep Learning for Learning Japanese Art and Culture	2017年3月	6th International Conference on Educational and Information Technology (ICEIT 2017)	Jiayun Wang
28	川越恭二	Analysis of Music Transition Preferred by User in Acoustic Feature Space	2017年2月	9th International Conference on Machine Learning and Computing (ICMLC 2017)	Shobu Ikeda, Kenta Oku
29	川越恭二	Serendipitous Music-recommendation Method in a User Profile using Known Spaces and Preference Spaces	2017年2月	6th International Conference on Information and Electronics Engineering (ICIEE 2017)	Naoki Kito, Kenta Oku
30	川越恭二	Fashion-brand Recommendation with Combination of Clustering and Deep-Learning	2017年2月	6th International Conference on Information and Electronics Engineering (ICIEE 2017)	Yuka Wakita, Kenta Oku
31	川越恭二	Music Playlist Recommendation Using Acoustic-Feature Transitions	2016年7月	Ninth International C* Conference on Computer Science & Software Engineering (C3S2E2016)	Shobu Ikeda, Kenta Oku
32	川越恭二	音響特徴空間における滑らかな楽曲遷移の分析	2017年3月	第9回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2017)	池田翔武, 奥健太
33	川越恭二	行動経過時間を考慮した音楽推薦の研究	2017年3月	第9回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2017)	白開元, 奥健太
34	川越恭二	楽曲遷移の滑らかさを考慮したプレイリスト推薦	2016年9月	第9回 Web とデータベースに関するフォーラム	池田翔武, 奥健太
35	河角直美	近代京都における市街地南部の拡張過程	2017年8月	2016年度日本建築学会学術講演会、福岡大学、福岡市	中村莉乃・小畑紗良・河角直美・大場修
36	木村文則	Identifying the Same Ukiyo-e Prints from Databases in Dutch and Japanese	2016年7月	Digital Humanities 2016, Krakow, Poland	Taisuke Kimura, Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda
37	倉橋正恵	『中村座日記』から見る幕末江戸歌舞伎興行と劇場運営	2016年9月	藝能史研究会 9月例会、キャンパスプラザ京都、京都市	

38	齋藤進也	Twitter による刑事司法改革についての意見分析」, 法と心理学会, 第 17 回大会, 立命館大学大阪茨木キャンパス	2016 年 10 月	法と心理学会, 第 17 回大会, 立命館大学大阪茨木キャンパス	上村晃弘
39	齋藤進也	The Design and Development of Turntable-type User Interface for Data-Browsing: A Case of Video Game Archives, Replaying Japan 2016	2016 年 8 月	Leipzig University, Leipzig, Germany	飯田和敏、福田一史
40	齋藤進也	Development of Support Tool for Categorizing Ukiyo-e's Pictorial Themes: A System to Deal with Visual Features and Similarities	2016 年 7 月	DH2016, Auditorium Maximum Jagiellonian University, Krakow, Poland	鈴木桂子
41	佐藤弘隆	京町家の所蔵品デジタルアーカイブと「しつらい」の継承・復原	2016 年 5 月	日本民俗建築学会第 43 回大会、国立米子高等専門学校	高木良枝
42	佐藤弘隆	近代京都における祇園祭橋弁慶山の運営基盤 一地域住民を中心とした地元資料のアーカイブとその活用に関する研究一	2016 年 6 月	第 53 回藝能史研究会大会、同志社女子大学今出川キャンパス	
43	佐藤弘隆	京都祇園祭山鉾行事における伝統的な技術集団の現代的変容	2016 年 10 月	日本地理学会、東北大学川内キャンパス	
44	佐藤弘隆	近代京都における都心居住者と祇園祭山鉾行事の運営基盤	2016 年 11 月	人文地理学会、京都大学	
45	佐藤弘隆	大規模京町家の継承ー京都市指定有形文化財長江家住宅の事例よりー	2016 年 11 月	都市住宅学会、日本大学	高木良枝
46	鹿内菜穂	Relations between the presence of an audience and dancers' emotions: A comparison of male and female dancers	2016 年 7 月	ICP 2016, 31st International Congress of Psychology, Yokohama, Japan	Nao Shikanai
47	鹿内菜穂	Statistical Analysis of Feminine Movements in Japanese Traditional Dance	2016 年 10 月	ICCAS 2016, 16th International Conference on Control, Automation and Systems, Gyeongju, Korea	Nao Shikanai

48	鹿内菜穂	【招待講演】工学・情報学・ 心理学的手法を用いた日 本舞踊の動きに対する模 索	2017年3月	第2回民俗芸能情報技術研究会シンポ ジウム, 室蘭工業大学	鹿内菜穂
49	島川博光	Recommendation of Fashion Coordinates Considering TPO and Impression	2016年9月	Proc. of International Conference on Advances in Software, Control And Mechanical Engineering (ICSCME 2016)	Keisuke katsura, Momoko Kato, Hiromitsu Simakawa
50	島川博光	Estimating Distracted Pedestrian from Deviated Walking Considering Consumption of Working Memory	2016年12月	Proc. of The 2016 International Conference on Computational Science and Computational Intelligence	Yoshihiro Uemura, Yusuke Kajiwara, Hiromitsu Shimakawa
51	島川博光	Extracting Foreigner Interest for Japanese Culture from Interactive Digital Contents	2017年2月	Proc. of 6th International Conference on Information and Electronics Engineering (ICIEE 2017)	Thi Ngoc Le, and Hiromitsu Shimakawa
52	島川博光	Estimating Working Stressor Based on Pulse Wave	2017年2月	Proc. of International Conference on Machine Learning and Computing(ICMLC)	Masayoshi Asano, Yusuke Kajiwara and Hiromitsu Shimakawa
53	鈴木桂子	Reshaping the "Kimono" in the 20th Century	2016年6月	AAS in Asia, Kyoto 2016	鈴木桂子
54	鈴木桂子	Japan's Souvenir Business for Foreign Tourists after WWII	2016年6月	AAS in Asia, Kyoto 2016	鈴木桂子
55	鈴木桂子	A Uniform to Embody a Tropical Paradise: Domestication of the Aloha Shirt in Asia	2016年7月	Dressing Global Bodies	鈴木桂子
56	鈴木桂子	Design, Production, and Marketing of African Printed Cloth in the Twentieth Century: Shifting Dominance from Europe to Japan	2016年7月	Dressing Global Bodies	鈴木桂子
57	鈴木桂子	京都における伝統産業資 料の保存と活用プロジェ クト	2016年8月	ARC Days 2016	木立雅朗、THAWONMAS Ruck、鈴木桂子、 吉田満梨、山本真紗子、加茂瑞穂、山口 欧志、枝木妙子、NGUYEN Duc Tung、高 須奈都子
58	鈴木桂子	デジタル・アーカイブ手法 を用いた近代染織資料の 整理と活用	2016年8月	ARC Days 2016	青木美保子、並木誠士、上田文、鈴木桂 子、山本真紗子、加茂瑞穂
59	鈴木桂子	ARC 所蔵「酒呑童子絵巻」 をめぐる大江山伝説の総 合的研究	2016年8月	ARC Days 2016	ヘレナ・ホンクーポバア、赤間亮、鈴木 桂子

60	鈴木桂子	「国際的な型紙研究の基盤構築と活用に向けて」	2016年10月	「学術資料としての『型紙』—資料の共有化と活用に向けて」	鈴木桂子
61	鈴木桂子	The Art Research Center and its Digital Humanities Projects, Ritsumeikan University	2016年12月	海外日本美術資料専門家(司書)の招へい・研修・交流事業 2016	鈴木桂子
62	鈴木桂子	「京都における伝統産業資料の保存と活用プロジェクト」	2017年2月	文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究拠点・形成支援プログラム研究プロジェクト 2016年度成果発表会	木立雅朗、鈴木桂子
63	鈴木桂子	Internationalization of Kimono Culture Since the Meiji Period: A Case Study of the Textile Industry and Fashion Business in Kyoto	2017年3月	Third Kansai Workshop on Global Fashion Business: Textile Industry and Fashion Business in the 19th and 20th Centuries: International Comparison	鈴木桂子
64	鈴木桂子	「特定の日本文化研究資源に対する知の共有化について—型紙を例としての提言」	2017年3月	平成28年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」成果報告会	鈴木桂子
65	瀬戸寿一	地理空間情報のオープンな教育・研究 イニシアティブ: Geo for All の紹介	2016年8月	日本地図学会平成28年度定期大会、就実大学・就実短期大学キャンパス、岡山県岡山市	
66	瀬戸寿一	The Construction of Open Data Portal using DKAN for Integrate to Multiple Japanese Local Government Open Data	2016年8月	FOSS4G Bonn 2016, World Conference Center, Bonn	Sekimoto, Y.
67	瀬戸寿一	オープンスmartシティの都市管理に向けた地理空間情報の活用	2016年9月	第15回情報科学技術フォーラム、富山大学五福キャンパス、富山県富山市	関本義秀
68	瀬戸寿一	災害情報支援活動における地理空間情報の役割とデータ整備	2016年10月	第25回地理情報システム学会研究発表大会、立正大学、東京都品川区	
69	瀬戸寿一	市民参加型の安心な街づくりに向けたオープンデータの活用	2016年10月	GIS Day in 関西 2016、立命館大学衣笠キャンパス、京都府京都市	
70	瀬戸寿一	【招待】OpenStreetMap の実践と活用	2016年3月	International Open Data Day in Wakayama 2017、和歌山県立情報交流センター、和歌山県白浜市	
71	瀬戸寿一	【招待】3D City Experience / 3D都市データの可能性とあり方	2016年3月	MEDIA AMBITION TOKYO 2017、六本木ヒルズ森タワー52階東京シティビュー、東京都港区	
72	瀬戸寿一	【招待】本当のオープンデータの話をしよう	2016年3月	CIVIC TECH FORUM 2017、Nagatacho GRID、東京都千代田区	

73	竹内千代子	松岡青蘿の「俳諧点之格」考	2016年10月	俳文学会 第68回全国大会、日本女子大学、東京	無
74	田中覚	現代科学における視覚表象の認識論に向けて	2016年5月	応用哲学会第八回年次研究大会	司会: 有賀暢迪, パネリスト: 大西勇喜, 下嶋篤, 有賀雅奈, 田中覚 (講演順)
75	田中覚	Precise transparent visualization of laser-scanned cultural heritage objects	2016年10月	The 35th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology	Satoshi Tanaka, Kyoko Hasegawa
76	田中聡	岡和田晃『向井豊昭の闘争—異種混交性(ハイブリディティ)の世界文学』(未来社、2014年)を読む	2016年9月	現代思想研究会、京都市	福島栄寿
77	田中弘美	金属の表面微小構造の鏡面反射と摩擦係数の相関解析	2016年8月	MIRU2016 アクトシティ浜松	田中 宥輝
78	田中弘美	動的照明による織物の異方性反射レンドリングに基づく薪能の再現	2016年11月	CVIM研究会204回 九州大学 医学部百年講堂	田中 士郎
79	常木佳奈	日本近代文学書の〈装い〉アーカイブ——木版口絵に着目した研究活用の可能性——	2017年1月21日	第6回 知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大阪梅田キャンパス	
80	富田美香	記憶の場: 昭和の大札と映画都市・京都	2016年4月2日	京都大学人文研「近代天皇制と社会」研究会、同志社大学寒梅館6A会議室	
81	西浦敬信	Sound Localization with Distance Perception Based on Simulated Room Impulse Response Using 16ch Head-enclosed Loudspeaker-array	2017年2月	NCSP 2017, グアム, 米国	Taku Yoshimura, Yukoh Wakabayashi, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama and Takanobu Nishiura
82	西浦敬信	Surround Sensation Index Based on Variance of Δ S-IACF for Listener Envelopment with Multiple Sound Sources	2017年2月	NCSP 2017, グアム, 米国	Kota Nakahashi, Yukoh Wakabayashi, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama and Takanobu Nishiura
83	西浦敬信	Listener Envelopment における多音源感の定量的な指標の検討	2016年11月	電子情報通信学会 第31回信号処理シンポジウム, 関西大学, 大阪	中橋 康太, 若林 佑幸, 福森 隆寛, 中山 雅人, 西浦 敬信
84	西林孝浩	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト	2016年8月	ARC DAYS 2016	三須祐介
85	西林孝浩	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト	2017年2月	文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究拠点・形成支援プログラム研究プロジェクト 2016年度成果発表会	

86	長谷川恭子	不透明度の差異を用いた ポイントクラウド型形状 の凹凸・輪郭強調	2016年7月	可視化情報学会 第44回可視化情報シ ンポジウム, 工学院大学, 東京	渡邊達彦, 長谷川恭子, 岡本篤志, 田中 覚
87	長谷川恭子	レーザ計測点群の透視可 視化における特徴領域強 調と3次元形状把握-祇園 祭・八幡山への適用-	2016年9月	2016年度精密工学会秋季大会, 茨城 大学, 水戸市	岡本直也, 長谷川恭子, 岡本篤志, 田中 覚
88	長谷川恭子	レーザ計測で得られる大 規模ポイントクラウドを用いた有形文化財の衝突 可視化	2016年9月	2016年度精密工学会秋季大会, 茨城 大学, 水戸市	重田 賢哉, 出口 和輝, 李 威特, 矢野 桂司, 長谷川 恭子, 田中 覚
89	長谷川恭子	Visualizing the Architectural Structure of a Historical Building by Clustering its Laser- scanned Point Cloud	2016年10月	AsiaSim2016, Beijing, China,	Wang Sheng, Kyoko Hasegawa, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
90	長谷川恭子	Transparent Visualization of a Laser-scanned Point Cloud Fused with a Background Photographic Image	2016年10月	JSST2016, Kyoto University, Kyoto, Japan	Itaru Nii, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
91	長谷川恭子	High-quality Transparent Visualization of a Laser-scanned PointCloud based on Extended Poisson Disk Sampling	2016年10月	JSST2016, Kyoto University, Kyoto, Japan	Shu Yanai, Ryohei Umegaki, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
92	長谷川恭子	【招待】 Precise transparent visualization of laser- scanned cultural heritage objects	2016年10月	JSST2016, Kyoto University, Kyoto, Japan	Satoshi Tanaka, Kyoko Hasegawa
93	長谷川恭子	Collision Visualization of Large Scale Point Clouds Obtained by Laser Measurement Technology	2016年11月	MPR 2016, Ritsumeikan University, Osaka, Japan	Weite LI, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka,
94	長谷川恭子	Fusion of a Background Photographic Image in Visualization of a Laser-scanned Point Cloud	2016年11月	MPR 2016, Ritsumeikan University, Osaka, Japan	Itaru Nii, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka,
95	八村広三郎	Development of Collaborative Workspace System Using Hand Gesture	2016年10月	IEEE 5th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE)	J. Minagawa, W. Choi, L. Li, S. Tsurumi, N. Hirakoso

96	八村広三郎	インタラクティブな VR 遠隔作業支援システムの開発	2017年3月	電子情報通信学会総合大会	柳原直貴, 山田千尋, 鶴見 智, Liang Li, Woong Choi
97	BATJARGAL Biligsaikhan	Cross-Language Record Linkage by Exploiting Semantic Matching of Textual Metadata	2017年3月	第9回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (第15回日本データベース学会年次大会), 岐阜県高山市	Song Yuting, 木村 泰, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
98	BATJARGAL Biligsaikhan	動画コメントシステムにおける適切なドット絵の推薦手法の提案	2016年12月	第24回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS2016), 滋賀県長浜市	Zhang Chi, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
99	BATJARGAL Biligsaikhan	異言語の浮世絵データベースにおける描写的作品名に対応した同一作品の同定手法の提案	2016年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム -じんもんこん 2016, 東京都立川市	木村 泰典, Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, 木村 文則, 前田 亮
100	BATJARGAL Biligsaikhan	Proper Noun Recognition in Cross-Language Record Linkage by Exploiting Transliterated Words	2016年11月	The 20th International Conference on Asian Language Processing (IALP 2016), Tainan, Taiwan	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal and Akira Maeda
101	BATJARGAL Biligsaikhan	Cross-Language Record Linkage using Word Embedding driven Metadata Similarity Measurement	2016年10月	The 15th International Semantic Web Conference (ISWC2016) Posters & Demonstrations Track, Kobe, Japan	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal and Akira Maeda
102	BATJARGAL Biligsaikhan	Named Entity Extraction from digitized texts of Mongolian Historical Documents in Traditional Mongolian Script	2016年6月	Digital Humanities 2016, Krakow, Poland	Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu, and Akira Maeda
103	BATJARGAL Biligsaikhan	Identifying the Same Ukiyo-e Prints from Databases in Dutch and Japanese	2016年6月	Digital Humanities 2016, Krakow, Poland	Taisuke Kimura, Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, Fuminori Kimura, and Akira Maeda
104	福田一史	ゲーム DB のためのデータモデルに関する検討: LOD の適用を主たる課題として	2017年3月	日本デジタルゲーム学会 2016 年度年次大会, 星城大学, 東海市	井上明人, & 細井浩一
105	福田一史	何が「重要」なゲームなのか?—賞、売上、博物館などにおけるゲームタイトル選出の偏り—	2017年3月	日本デジタルゲーム学会 2016 年度年次大会, 星城大学, 東海市	井上明人
106	福田一史	ゲームパッケージ DB のメタデータ・コアセットに関する分析と提案	2017年1月	第6回 知識・芸術・文化情報学研究会	無し
107	福田一史	Proposal and Validation of the Data Model of Video Game Database	2016年8月	Replaying Japan 2016, ライブツイヒ大学	井上明人, & 細井浩一

108	福田一史	Distinct Difference Game Titles between Japanese Context and English Context	2016年8月	Replaying Japan 2016, ライブツイヒ大学	井上明人
109	福田一史	The Design and Development of Turntable-type User Interface for Data-Browsing: A Case of Video Game Archives	2016年8月	Replaying Japan 2016, ライブツイヒ大学	斎藤慎也, & 飯田和敏
110	ペレッキアデイエゴ	【招待】「研究と教育のための伝統芸能資料サイト JPARC: その活用の可能性」	2017年2月	東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性 (立命館大学)	モニカ・バーテ
111	ペレッキアデイエゴ	Desperately Seeking Youngblood - The World of University Noh Clubs'	2016年6月	AAS in Asia (同志社大学)	
112	細井浩一	クリエイティブ産業としての伝統工芸をく見せる >~ 3D 仮想空間におけるアーカイブと利活用環境	2016年6月	2016年度(第54回)産業学会全国研究会	
113	細井浩一	Proposal and Validation of the Data Model of Video Game Database	2016年8月	Replaying Japan 2016	Kazufumi Fukuda, Akito Inoue
114	細井浩一	ゲームDBのためのデータモデルに関する検討: LODの適用を主たる課題として	2017年3月	日本デジタルゲーム学会 2016年次大会	福田一史・井上 明人
115	Helena Honcoopová	【招待】大江山の酒呑童子に関する報告	2017年3月21日	日本文化センター。プラハ市	Helena Honcoopova
116	前崎信也	【招待講演】前崎信也「世界の陶磁交流史から見る中国と日本」	2016年11月26日	北京外国語大学 北京日本学研究センター2016年秋学期日本学公開講座(会場: 北京日本学研究センター)	
117	前崎信也	【招待講演】前崎信也「大正時代に京焼陶工が見た九谷焼 ~初代中村秋塘をはじめとする加賀市内の窯元を中心に~」	2016年10月30日	石川県九谷焼美術館「初代中村秋塘とその一門展」特別展開催記念講演会(会場: 石川県九谷焼美術館)	
118	前崎信也	前崎信也「近代における九谷焼の動向ー京焼との関係を中心にー」	2016年7月31日	第58回意匠学会大会(会場: 京都精華大学)	
119	前崎信也	【招待講演】前崎信也「帝室技芸員としての三代清風與平」	2016年6月19日	近代国際陶磁研究会講演会「帝室技芸員ー清風與平と宮川香山」(会場: 瀬戸市美術館)	

120	前田亮	異言語の浮世絵データベースにおける描写的作品名に対応した同一作品の同定手法の提案	2016年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム (東京都立川市)	木村 泰典, Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, 木村 文則, 前田 亮
121	前田亮	【招待】 Towards Integrated Multilingual Access to Diverse Digital Libraries and Archives	2016年12月	Fifth International Conference on Digital Libraries (ICDL2016) (New Delhi, India)	Akira Maeda
122	前田亮	Cross-Language Record Linkage by Exploiting Semantic Matching of Textual Metadata	2017年3月	第9回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2017) (岐阜県高山市)	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda
123	松葉涼子	北斎一枚摺カタログレゾネのオンライン化	2016年11月	AHRC 研究プロジェクト Late Hokusai: Thought, Technique, Society 北斎の晩年: 思想、技術、社会 (京都・東京会場)	
124	Lawrence E. MARCEAU	【招待】 "Aesop's Fables in Early Modern Japan: Re-clothing Europe in Asian Attire"	2016年4月19日	Department of Languages & Cultures Research Seminar Series, University of Otago, Dunedin, New Zealand	
125	三須祐介	上海演劇資料のデジタル・アーカイブ化の試みとその応用	2017年2月	国際ワークショップ「東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性」	
126	矢野桂司	WebGIS-based Application for Comparing Folding Screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with Maps.	2016年4月	International Cartographic Association: Commission on Cartographic Heritage into the Digital jointly with the 20th Conference of the Map & Geoinformation Curators Group	Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura, Masao Kawashima, Kota Okukubo, and Tsuyoshi Nishiyama
127	矢野桂司	Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities	2016年5月	2016 International Seminar on the Making of Historical Atlas: Historical Atlas - Its concepts and methodologies	Keiji Yano
128	矢野桂司	Historical GIS and spatial humanities based on Virtual Kyoto	2016年6月	CASA Lunch Time Seminar	Keiji Yano
129	矢野桂司	英国の Postcode から何が分かるか? - 地理空間情報活用の最前線	2016年6月	第3回立命館セミナー・シリーズ	矢野桂司
130	矢野桂司	Virtual Kyoto based on Digital Humanities	2016年8月	International Geographical Congress 2016.K34: VGE as a Key Component of Geographic Knowledge Engineering, China	Keiji Yano

131	矢野桂司	すまいに関する意識調査に基づく住宅の耐震化普及啓発の一考察—既存建築物の長寿命化を目的とした支援制度に関する研究(その2)—	2016年8月	2016年度日本建築学会大会建築社会システム	河野学・生川 慶一郎・矢野桂司
132	矢野桂司	Historical GIS and Digital Humanities based on Virtual Kyoto	2016年9月	HARVARD JAPAN EVENTS Fall 2016	Keiji Yano
133	矢野桂司	地価分布状況に対応した固定資産税路線価検証のための自然分類手法の提案	2016年10月	第25回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司・矢野桂司・中谷友樹
134	矢野桂司	墓石色境からみる分類手法の検討	2016年10月	第25回学術研究発表大会	武田幸司・青木和人・矢野桂司・中谷友樹
135	矢野桂司	居住者属性から見た近隣生活施設へのアクセシビリティ格差—ジオデモグラフィクスを活用した小地域分析	2016年11月	2016年人文地理学会大会 研究発表要旨 pp. 58-59	上杉昌也・矢野桂司
136	矢野桂司	現場教員のための地図/GIS 研修の産官学連携による支援活動	2016年12月	日本学術会議公開シンポジウム「高等学校地理総合(仮称)必修化による地理教育への社会的期待と課題—現場の地理歴史科教員を支援するために日本学術会議は何かができるか—」	矢野桂司
137	矢野桂司	オープンプラットフォームによる日本の古地図オンラインの構築	2017年3月	日本地理学会春季学術大会	矢野桂司・鎌田遼
138	矢野桂司	ジオデザインによる京都府与謝野町の将来計画	2017年3月	日本地理学会春季学術大会	谷端郷・矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖
139	矢野健一	関西を中心とした縄文遺跡データベースの構築と活用	2016年5月	一般社団法人日本考古学協会第82回(2016年度)総会	中村 大・矢野健一・関西縄文文化研究会
140	矢野健一	長野市宮崎遺跡出土成人骨と乳児骨の同位体分析	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会	日下宗一郎(ふじのくに地球環境史ミュージアム)、藤澤珠織(青森中央学院大学)、矢野健一(立命館大学)
141	山口欧志	【招待】三次元デジタルドキュメンテーションが拓く文化遺産の新たな世界	2017年1月	立命館土曜講座、立命館大学	
142	山口欧志	【招待】瑞巖寺周辺の岩窟・石塔の三次元記録プロジェクト	2016年12月	宮城県松島町文化遺産を活かした地域活性化事業取り組み紹介、宮城県松島町	
143	山口欧志	歴史芸術文化遺産の3Dデジタル資源化とその活用	2016年6月	アート・ドキュメンテーション学会2016年度年次大会、奈良国立博物館	山路正憲

144	山口欧志	【招待】モンゴル文化遺産のデジタルドキュメンテーション	2016年10月	3D 考古学の挑戦:考古遺物・遺構の三次元計測における研究の現状と課題、早稲田大学	
145	山口欧志	[招待]Digital documentation of cultural heritage in Mongolia:Past, Present, and Future	2016年9月	Archaeological research and preservation eastren Mongolia	
146	山口欧志	Human resource development in the field of digital documentation of cultural heritage in Mongolia.	2016年8月	The Eighth World Archaeological Congress, Kyoto	
147	山口欧志	Landscape archaeology of Hakusan worship	2016年8月	The Eighth World Archaeological Congress, Kyoto	
148	山口欧志	SfM-MVS による文化遺産の計測	2016年7月	文化財写真技術研究会、奈良文化財研究所	
149	山口欧志	【招待】小さな文化遺産のデジタル文化資源化	2016年6月	第29回 ARCセミナー、アート・リサーチセンター	
150	山口欧志	多焦点画像処理による歴史芸術文化遺産の詳細記録	2016年6月	日本文化財科学会第33回大会、奈良大学	
151	山口欧志	穴の非接触三次元計測による石割技法の検討	2016年5月	日本考古学協会第82回総会、東京学芸大学	
152	山路正憲	「文化財デジタルアーカイブにおけるメタデータ蓄積の効率化システムについて」	2016年6月	2016年度アート・ドキュメンテーション学会年次大会、奈良国立博物館	
153	山路正憲	WebGIS-based Application for Compering Folding Screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with Maps. International Cartographic Association: Commission on Cartographic Heritage into the Digital jointly with the 20th Conference of the Map & Geoinformation Curators Group	2016年4月	National Library of Latvia, Riga, Latvia	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Masao Kawashima, Kota Okukubo, and Tsuyoshi Nishiyama
154	湯浅俊彦	「出版メディアとプリント・ディスプレイ」	2016年12月	日本出版学会 2016年度秋季研究発表会	
155	李増先	New Facts about Lockhart Collection	2016年4月	第27回ARCセミナー	

156	李増先	ロックハートコレクションの謎：林&コーニツキー目録の再検討	2016年10月	日本比較文化学会関西支部会	
157	李増先	ケンブリッジ大学図書館の和漢古典籍：林&コーニツキー目録の再考	2016年12月	立命館大学日本文学会・第149回研究例会	
158	李亮	Development of collaborative workspace system using hand gesture	2016年10月	IEEE 5th Global Conference on Consumer Electronics	J. Minagawa, W. Choi, L. Li, S. Tsurumi, N. Hirakoso and K. Hachimura
159	李亮	マセマティカル・モルフオロジと感性科学・繊維工学分野での応用	2016年7月	京都大学数理解析研究所講究録, No. 2001「ウェーブレット解析と信号処理」	浅野 晃, 浅野 (村木) 千恵, 藤本 尊子, 李 亮
160	李亮	インタラクティブな VR 遠隔作業支援システムの開発	2017年3月	2017年電子情報通信学会総合大会. ISS-P-67	柳原直貴, 山田千尋, 鶴見 智, 八村広三郎, Liang L, Woong Choi
161	脇田航	A High Immersive Infinity Walking System with HMD and Load Balance	2017年3月	Laval Virtual ReVolution 2017, Laval, France	Tomoyuki Yamamoto, Yasuhiro Seya, Mitsuyuki Saito, Yasuhide Kobayashi, and Wataru Wakita
162	脇田航	没入型舞踊動作訓練システム	2017年2月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」, 広島市立大学, 広島市	脇田 航
163	脇田航	HMD および荷重バランスを用いた高度没入型無限歩行システムの提案	2017年2月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」, 広島市立大学, 広島市	山本智之, 瀬谷安弘, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
164	脇田航	全周映像および慣性力による移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステム	2017年2月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」, 広島市立大学, 広島市	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
165	脇田航	動的照明による織物の異方性反射レンダリングに基づく薪能の再現	2016年11月	CVIM2016年11月研究会 ポスターセッション, 九州大学医学部百年講堂	田中 士郎, 脇田 航, 八村広三郎, 田中弘美
166	脇田航	視力触覚および前庭感の伝送による移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステムの提案	2016年11月	CVIM2016年11月研究会, 九州大学医学部百年講堂	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
167	脇田航	等身大 VR 環境における大型文化財の鑑賞のための低コスト無限歩行システムの提案	2016年11月	CVIM2016年11月研究会, 九州大学医学部百年講堂	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
168	脇田航	動的照明による織物の異方性反射レンダリングに基づく薪能の再現	2016年11月	CVIM2016年11月研究会, 九州大学医学部百年講堂	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航

169	脇田航	視力触覚および前庭感を用いた移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステム	2016年10月	知覚情報研究会「知覚情報技術の最前線」, 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
170	脇田航	pseudo-haptics による高度没入型無限歩行システムの提案	2016年10月	知覚情報研究会「知覚情報技術の最前線」, 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
171	脇田航	高度没入型無限歩行システムの提案	2016年10月	平成28年度(第67回)電気・情報関連学会中国支部連合大会, 広島大学東広島キャンパス	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
172	脇田航	視力触覚および前庭感の呈示による移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステムの提案	2016年10月	平成28年度(第67回)電気・情報関連学会中国支部連合大会, 広島大学東広島キャンパス	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
173	脇田航	視力触覚および前庭感による移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステム	2016年9月	第21回日本バーチャルリアリティ学会全国大会論文抄録集, つくば国際会議場, つくば市	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
174	脇田航	HMD および大腿部圧迫による高度没入型無限歩行システムの提案	2016年9月	第21回日本バーチャルリアリティ学会全国大会論文抄録集, つくば国際会議場, つくば市	山本智之, 早川達也, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
175	脇田航	知・技の伝承と複合現実型実用共同研究委員会の概要	2016年9月	平成28年電気学会電子・情報・システム部門大会, 技術委員会企画セッション, TC17 知・技の伝承と複合現実型実用, 神戸大学 六甲台第2キャンパス	脇田航
176	脇田航	視力触覚および前庭感の呈示による移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステム	2016年9月	平成28年電気学会電子・情報・システム部門大会, ポスターセッション, PS1 生体情報・知覚情報工学, 神戸大学 六甲台第2キャンパス	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
177	脇田航	高度没入型無限歩行システムの提案と技能訓練への応用	2016年9月	平成28年電気学会電子・情報・システム部門大会, ポスターセッション, PS1 生体情報・知覚情報工学, 神戸大学 六甲台第2キャンパス	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
178	脇田航	技能訓練のための高度没入型無限歩行システムの提案	2016年8月	第21回知能メカトロニクスワークショップ, 公立はこだて未来大学, 函館市	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
179	脇田航	視力触覚および前庭感を用いた移動体の高度没入型トレイグジスタンスシステムの提	2016年8月	第21回知能メカトロニクスワークショップ, 公立はこだて未来大学, 函館市	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田航
180	赤間亮	立命館 ARC の海外デジタルアーカイブ、その現状報告と持続可能なデジタルアーカイブへの挑戦	2016年6月	2016年度第1回 関西地区部会(研究会)	

181	赤間亮	専門分野別研究資源ポータルデータベースと相互リンクによるユーザビリティ	2016年6月	2016年度アート・ドキュメンテーション学会年次大会	
182	赤間亮	Kabuki Beyond the Stage Curtain: Regional and Amateur Theater in Edo Japan	2016年6月	AAS-in-ASIA・Kyoto, Japan	
183	赤間亮	ARC メソッドによる文化資源アーカイブ	2016年10月	国際ワークショップ「学術資料としての『型紙』—資料の共有化と活用に向けて」	
184	赤間亮	オンライン・イメージデータベースを応用した浮世絵研究	2016年11月	2016北斎ワークショップ(京都)	
185	赤間亮	大阪府立中之島図書館 芝居番付閲覧システム	2016年12月	WEB(立命館大学ARC)	倉橋正恵
186	赤間亮	歌舞伎の見得と風流・造り物	2016年12月	藝能史研究会第40回東京大会	
187	赤間亮	描かれた頼光伝説: 異界展 デジタル展示の紹介も兼ねて	2017年2月	Text & Image in Pre-modern Japan: From Analogue to Digital Humanities	
188	赤間亮	日本における日本演劇資料のデジタル・アーカイブと立命館ARCの展開	2017年2月	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト国際ワークショップ 東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	シンポジウム 日本と韓国の実験考古学と伝統工芸3-大甕の考古学-	朱雀キャンパス	2017年3月	15名	窠跡研究会・羅州文化財研究所・立命館大学文学部歴史考古学ゼミ
2	西川祐信雛形本研究会	衣笠キャンパス	2016年4月~2017年3月 (月1開催)	8名	
3	Superheroes in Manga and Anime シンポジウム	Aloha Tower Marketplace Campus, HPU	2016年4月	70名	Japan Research Group, HPU, and National Endowment for the Humanities
4	国際ワークショップ「学術資料としての『型紙』—資料の共有化と活用に向けて」	衣笠キャンパス	2016年10月	70名	
5	中村座日記研究会	早稲田大学	2016/6/1,2016/10/1,2017/2/1	6名	
6	第112回人文科学とコンピュータ研究会発表会内セッション企画「国際会議サーベイセッション」	同志社大学 室町キャンパス 寒梅館	2016年10月	30名	なし

7	研究ワークショップ 「20 世紀日本ファッション産業の仲介者たち」	衣笠キャンパス	2016 年 6 月	50 名	「糸・布・衣循環史研究会」立命館大学 アート・リサーチセンター文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源 デジタル・アーカイブ研究拠点」研究課 題 「デジタル・アーカイブ手法を用い た近代染織資料の整理と活用」政治経済 学・経済史学会「糸・布・衣の循環史」 フォーラム
8	国際ワークショップ 「学術資料と としての『型紙』—資料の共有化と活用 に向けて」	衣笠キャンパス	2016 年 10 月	70 名	立命館大学 研究成果国際発信プログ ラム「国際的な型紙研究の基盤構築と活 用に関する研究」、立命館大学アート・ リサーチセンター
9	The 12th Convention of the International Association for Japan Studies	衣笠キャンパス	2016 年 12 月	20 名	国際日本学会
10	FOSS4GTokyo2016 特別セッション「ア ーカイブ×FOSS4G」	東京大学生産技 術研究所コンベ ンションホール	2016 年 11 月	100 名	OSGeo 財団日本支部, 東京大学空間情報 科学研究センター, 大阪市立大学創造都 市研究科
11	Replaying Japan	ライブツィヒ大 学	2016 年 8 月	120 名 程 度	アルバータ大学、ライブツィヒ大学、立 命館大学ゲーム研究センター
12	京都 VR 関連異業種交流カンファレン ス	立命館松竹スタ ジオ	2017 年 2 月	130 名	IT コンソーシアム京都 (クロスメディ ア部会) 京都クロスメディア推進戦略拠 点 京都府 京都市
13	展覧会監修「融合する工芸—旅に出 たヤドカリのはなし」	大阪高島屋 6 階 美術画廊	2016 年 11 月 30 日～12 月 6 日		大阪高島屋
14	展覧会監修「植村猛コレクション名 品展」	くずはアートギ ャラリー)	2016 年 8 月 5 日～17 日		枚方市
15	関西元気文化圏推進フォーラム「文 化芸術の再発見」Ⅶ 伊藤若冲生誕 300 年記念事業シンポジウム「若冲に 見るデザインの先進性」パネルディ スカッション コーディネーター& 司会	会場: ロームシア ター京都メイ ンホール	2015 年 7 月 1 日	1650 名	京都市、関西広域連合、関西元気文化圏 推進協議会
16	展覧会監修「禅：漆×竹 若宮隆志・ 田辺小竹」	横浜高島屋 7 階 美術画廊	2016 年 6 月 22 日～28 日		横浜高島屋
17	AHRC 研究プロジェクト Late Hokusai: Thought, Technique, Society 北斎の晩年: 思想、技術、社 会 (京都・東京会場)	立命館大学ア ート・リサーチセ ンター、学習院大 学	2016 年 11 月	30 名	大英博物館、ロンドン大学 SOAS
18	SfM-MVS for site topological survey and archaeological excavation research	モンゴル国ウラ ンバートル市	2016 年 9 月	35 名	モンゴル国立文化遺産センター、モンゴ ル国科学アカデミー歴史・考古研究所
19	知覚情報研究会「複合現実型実応 用および一般」	広島市立大学	2017 年 2 月	30 名	電気学会 C 部門 知覚情報研究会 知・ 技の伝承と複合現実型実応用協同研究 委員会

20	平成 28 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会, 技術委員会企画セッション, TC17 知・技の伝承と複合現実型実応用	神戸大学 六甲台第 2 キャンパス	2016 年 9 月	20 名	電気学会 C 部門 知覚情報研究会 知・技の伝承と複合現実型実応用協同研究委員会
----	---	-------------------	------------	------	--

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	木立雅朗	講演「東アジアの近世・近代陶磁器-日本人の美意識を変えた国際関係-」	2016 年度立命館大阪梅田キャンパス講座『東アジアの考古学-日中韓の遺跡・遺物-』、大阪市、立命館大学大阪梅田キャンパス	2016 年 10 月～11 月
2	木立雅朗	写真展「五条坂に残る登り窯-写真と映像展-」主催	京都市東山区五条橋東 5-463 「陶点晴かわさき」2 階ギャラリー	2016 年 10 月～11 月
3	木立雅朗	「五条坂京焼登り窯(旧藤平)発掘調査現地説明会」主催	京都市東山区竹村町 151-1、五条坂京焼登り窯(元 藤平陶芸登り窯)	2016 年 9 月 1 日
4	石上阿希	「西川祐信作品総合データベース」	http://sukenobu.net/	2016 年 4 月公開開始
5	井上学	光る地域に地域の汗あり～移動を支えて育てる地域のチカラ～	橋本商工会館 (地域公共交通活性化シンポジウム in 橋本)	2016 年 11 月 18 日
6	井上学	地域の特性をふまえた公共交通のあり方	テイジンホール(平成 28 年度地域公共交通活性化シンポジウム in 関西)	2016 年 12 月 2 日
7	井上学	ドライバー確保に向けた魅力ある職場と企業ブランドの構築	大阪科学技術センター (バス運転者の確保・育成を考えるシンポジウム)	2017 年 2 月 3 日
8	井上学	自治体とバス事業者の協調と連携-沿線住民の参加と責任をふまえた公共交通の運営に向けて-	京都自動車会館 (平成 28 年度生活交通バス研修会 Vol. 2)	2017 年 2 月 10 日
9	井上学	住民、事業者、行政が協働する地域コミュニティ交通の在り方	兵庫県民会館京都自動車会館 (エコモ財団 第 14 回地域バス交通活性化セミナー)	2017 年 2 月 10 日
10	井上学	古写真から見た昭和京都の生活～市電の音が聞こえる風景～ ギャラリートーク	ひと・まち交流館京都	2017 年 2 月 22～24・26 日
11	大西秀紀	音源監修・提供「住太夫の大大阪」	朝日放送ラジオ	2016 年 5 月 29 日、21:00～22:00 放送
12	亀田和子	“One Thousand Years of Superheroes in Manga and Anime” Kawaii Kon Panel Presentation, History of Manga and Anime	Hawaii Convention Center	2016 年 4 月
13	亀田和子	“Reading Zen Brush/ Zen Mind” Classical Japanese Reading Workshop	Tel Aviv University	2016 年 6 月
14	加茂瑞穂	「デザインズ・インスピレーション」型紙解説コラム	株式会社キョーテックホームページ http://www.kyolite.co.jp/katagami/	2016 年 4 月～2017 年 3 月
15	加茂瑞穂	新聞掲載「「型紙」を学術資料として共有化へ」	『染織新報』	2016 年 10 月 26 日
16	川嶋将生	戦国時代の京お正月を歩く (講演)	ゴールデン・エイジ・アカデミー	2016 年 8 月 5 日
17	川嶋将生	戦後期時代と都市文化 (講演)	宇治市民大学講座	2016 年 11 月 19 日
18	川嶋将生	初期洛中洛外図屏風にみる町衆の様相 (講演)	京都府立京都学・歴彩館	2017 年 3 月 19 日

19	源城政好	講演 宇治市民大学「室町幕府終焉の地—槇島城」	宇治市生涯学習センター	2016年6月18日
20	源城政好	講演 部落史連続講座「犬追物と河原者の活躍」	京都部落問題研究資料センター	2016年7月1日
21	源城政好	講演 奈良学へ招待「作庭と山水河原者」	帝塚山大学奈良学総合研究所	2016年11月12日
22	斎藤進也	JavaScript 視覚化ライブラリの学術活用—分析/プレゼンテーションツールの開発事例—	第38回 ARC セミナー, 立命館大学アート・リサーチセンター	2017年1月18日
23	斎藤進也	データベース・エンターテインメント」の創成と社会実装プロジェクト	ARC Days 2016, 立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2016年8月5日
24	鈴木桂子	展覧会「京都の墨流し染・糊流し染—その系譜と新たな可能性—」	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 1階	2016/5/23~2016年6月11日
25	鈴木桂子	新聞掲載「「型紙」を学術資料として共有化へ」	『染織新報』2016年10月26日	
26	瀬戸寿一	熊本地震 地図情報を集めたサイト開設	毎日新聞デジタル版	2016年4月26日
27	瀬戸寿一	地図分野における国際活動の意義	地図中心、531、pp. 20-21	2016年12月10日
28	田中聡	【書評】仁木宏・山田邦和編『歴史家の案内する京都』	京都民報、第5面	2016年7月31日
29	田中聡	【講演】マンガから差別について考える	福知山市人権の輪つながり広がり事業学習会	2016年11月13日
30	富田美香	木下忠司氏インタビュー 聞き手・長門洋平、聞き手・構成：大澤浄、富田美香	『NFC ニュースレター』126号、2-5頁	2016年4月 発行
31	富田美香	木下忠司 映画音楽担当作品一覧 富田美香	『NFC ニュースレター』126号、7-9頁	2016年4月 発行
32	富田美香	「桃太郎 海の神兵」	DVD 解説、松竹株式会社	2016年8月3日
33	富田美香	羽田澄子+佐藤斗久枝（彼方舎）対談 「感じた人は行う責任がある」聞き手・構成：大澤浄、岡田、佐崎、富田美香	『NFC ニュースレター』128号、8-11頁	2016年8月発行
34	富田美香	マキノと東亜キネマ —光と影の七年—	富田美香監修『戦前期映画ファン雑誌集成 第1期 第28巻』（ゆまに書房）317-325頁	2016年9月23日
35	富田美香	押井守監督インタビュー「現実それ自体が、自分が映画を作る根拠になっていないのかも知れない」聞き手：富田美香、佐々木淳。構成：佐々木淳	『NFC ニュースレター』130号、8-13頁	2016年12月発行
36	西林孝浩	中国仏教美術の「本流」—インド文化と中国文化の往還—	立命館大学土曜講座『美術のたくらみ—イメージの越境と接触—』	2016年11月19日
37	福田一史	「位置情報ゲーム×まちみらい〜天保山GO! フォーラム〜」（大阪市港区主催シンポジウム）：パネルディスカッション	天保山客船ターミナル2階	2017年3月25日
38	福田一史	国内ゲーム産業史研究の歴史・動向と展望	文化庁：ゲーム研究の手引き、pp. 21-22	2017年3月
39	前崎信也	Google Arts & Culture 2017 発表会でのプロジェクト紹介	六本木ヒルズ森タワー29階（グーグル合同会社内）	2017年3月24日

40	前崎信也	Google Arts & Culture 「Made in Japan: 日本の匠」を通じた日本の伝統工芸品情報の海外発信	https://www.google.com/culturalinstitute/beta/project/made-in-japan	2016年8月～2017年3月
41	前崎信也	講演会 前崎信也「京焼と煎茶」	(社)法人文人会一茶庵主催 一茶庵講座 (会場: 佃家煎茶室主屋)	2017年1月28日
42	前崎信也	ギャラリートーク 前崎信也(司会)「融合する工芸—旅に出たヤドカリのはなし」	展覧会「融合する工芸—旅に出たヤドカリのはなし」(会場: 大阪高島屋)	2016年12月3日、4日
43	前崎信也	講演会 前崎信也「Web を用いた伝統工芸の発信に有効なコンテンツのあり方」	4th 京都伝統産業ふれあい館サロン (会場: 京都伝統産業ふれあい館)	2016年11月22日
44	前崎信也	講演会 前崎信也「陶芸史からみる日本の世界戦略とソフトパワー」	第2期京都クオリア塾 第2回 (会場: 京都学園大学 京町屋 新柳居)	2016年11月19日
45	前崎信也	アーティストトーク 前崎信也(司会)「京・焼・今・展」	展覧会「京・焼・今・展」(会場: 建仁寺塔頭両足院)	2016年11月6日
46	前崎信也	ギャラリートーク 前崎信也・村田隆志、「植村猛コレクション名品展—民藝運動ゆかりの作家を中心に—」	企画展覧会「植村猛コレクション名品展—民藝運動ゆかりの作家を中心に—」(会場: くずはアートギャラリー)	2016年8月8日
47	前崎信也	講演会 前崎信也「伝統文化に隠された真実」	悠話舎のまなびのじかん vol.2、(会場: 新島会館)	2016年7月26日
48	前崎信也	ギャラリートーク「禅: 漆×竹 若宮隆志・田辺小竹」	横浜高島屋7階美術画廊	2016年6月25日
49	前崎信也	講演会 前崎信也「ジャポニズム〜工芸からみる日本と中国の関係」	第1期 京都クオリア塾 第2回 (会場: 京都学園大学 京町家 新柳居)	2016年5月14日
50	前崎信也	講演会 前崎信也「京焼再考2」	京都陶磁器協会店舗運営委員会勉強会 (会場: やすらぎ・ふれあい館)	2016年4月15日
51	前崎信也	講演会 前崎信也「京焼再考1」	京都陶磁器協会店舗運営委員会勉強会 (会場: 京都陶磁器会館)	2016年4月8日
52	松本節子	『徒然草』を読む	交野市市民教養講座	2016年5月～3月
53	Lawrence E. MARCEAU	【招待】国際学会に際して、コメンテーター任務	23rd Nichibunken International Symposium, University of Otago, New Zealand テーマ Japanese Studies Down Under: History, Politics, Literature and Art (南太平洋から見る日本研究: 歴史、政治、文学、芸術)	2016年11月25日
54	矢野明子	コラム「てくてく大英博物館」	『目の眼』(株式会社目の眼) 計6回掲載	2016年5月～2017年3月号(隔月)
55	矢野明子	Public lecture: 'Materiality of Japanese art'	Stable Gallery, London Borough of Richmond upon Thames, UK	21st January 2017
56	矢野健一	ロボット操り考古学 きょうの授業 琵琶湖底の遺跡を調べる	朝日新聞 2017年3月12日版	2017年3月12日～
57	李増先	ケンブリッジ大学図書館蔵『標箋孔子家語』の解説 https://cudl.lib.cam.ac.uk/view/PR-FB-00769-00001/1	Cambridge Digital Library	2016年10月5日公開
28	赤間亮	「日本の伝説: 異界」展(含: デジタル展示)	立命館大学アート・リサーチセンター展示室	2016年12月12日～2017年1月20日

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
-----	----	-------	-----	------	------

1	THAWONMAS Ruck	IEEE Japan Council Women In Engineering	IEEE Japan Council Women In Engineering Best Paper Award	Procedural Generation of Angry Birds Levels That Adapt to the Player's Skills Using Genetic Algorithm	2015年11月
2	石上阿希	国際浮世絵学会	国際浮世絵学会新人賞	『日本の春画・艶本研究』と大英博物館春画展に対して	2015年6月
3	金子 貴昭	アート・ドキュメンテーション学会	第9回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞	『近世出版の板木研究』(2013年4月、法蔵館)及び「板木閲覧システム」	2015年6月
4	細井 浩一	日本デジタルゲーム学会	2015年度日本デジタルゲーム学会賞		2016年2月
5	田中覚	公益社団法人 日本工学会	日本工学会フェロー		2016年6月
6	田中覚	アジアシミュレーション学会連合	アジアシミュレーション学会連合フェロー		2016年10月
7	田中覚	アジアシミュレーション学会連合	Best Paper Award Nomination	Highlighting Polygon Edges in the Transparent Visualization of Large-scale Polygon Meshes: Application to Visualizing a High-energy Elementary Particle Detector	2016年10月
8	脇田航	電気学会C部門知覚情報研究会	技術委員会奨励賞	全周映像および慣性力による移動体の高度没入型レイグジスタンスシステム	2017年2月
9	脇田航	電気学会中国支部	電気学会中国支部奨励賞	高度没入型無限歩行システムの提案	2016年10月
10	脇田航	電気学会中国支部	電気学会中国支部奨励賞	視力触覚および前庭感の呈示による移動体の高度没入型レイグジスタンスシステムの提案	2016年10月
11	脇田航	電子情報通信学会中国支部	平成28年度 電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞	高度没入型無限歩行システムの提案	2016年10月
12	脇田航	電子情報通信学会中国支部	平成28年度 電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞	視力触覚および前庭感の呈示による移動体の高度没入型レイグジスタンスシステムの提案	2016年10月
13	脇田航	電気学会C部門	優秀ポスター賞	視力触覚および前庭感の呈示による移動体の高度没入型レイグジスタンスシステム	2016年8月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	飯塚隆藤	近代水陸交通の地域的变化に関する歴史GIS研究	研究活動スタート支援	2016年9月	2018年3月	代表

2	飯塚隆藤	環太平洋における在外日本人の移動と生業	基盤研究(A)	2013年4月	2018年3月	分担
3	石上阿希	18世紀上方・江戸における出版と都市文化の関連性-西川祐信を中心として-	若手研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
4	井上学	都市域における公共交通の移動を円滑化するための情報提供に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
5	金子貴昭	東アジア比較板木研究体制の構築	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
6	加茂瑞徳	近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-	基盤研究(B)	2015年4月	2018年3月	協力
7	木村文則	古典資料に対するテキストマイニングおよびその分析結果の可視化に関する研究	若手(B)	2014年4月	2017年3月	代表
8	倉橋正恵	近世文化形成における歌舞伎興行と出版活動の連動についての基礎研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
9	倉橋正恵	江戸歌舞伎における年代記資料の基礎的研究	基盤研究(C)	2015年4月	2018年3月	分担
10	鈴木桂子	18~20世紀の糸・布・衣の廉価化をめぐる世界史	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
11	瀬戸寿一	東日本大震災におけるカウンターマッピングに関する地理学的研究	基盤研究(C)	2015年4月	2018年3月	分担
12	瀬戸寿一	空間情報を内包した戦略的な都市インフラマネジメント基盤の体系化	挑戦的萌芽研究	2016年4月	2018年3月	分担
13	瀬戸寿一	携帯通信履歴のタイプに応じた安全・オープンな人流再現手法の体系化	基盤研究(B)	2016年4月	2019年3月	分担
14	瀬戸寿一	参加型データ駆動社会に向けたオープンな地理空間情報の活用手法に関する研究	若手研究(B)	2017年4月	2020年3月	代表
15	瀬戸寿一	人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価	基盤研究(A)	2017年4月	2021年3月	分担
16	塚本章宏	近世・近代出版図の構図と系譜に関する歴史GIS研究	若手研究(B)	2017年4月	2020年3月	代表
17	富田美香	70ミリ映画のアーカイブにむけた基盤形成	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
18	西浦敬信	フレキシブルパラメトリックスピーカを用いた3D音像ホログラムの総合開発	基盤研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
19	八村広三郎	文化芸術活動における身体動作と集団行動のデジタルアーカイブと解析・表現技法の開発	基盤研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
20	BATJARGAL Biligsaikhan	Research on visualization and information extraction from ancient Mongolian historical documents	若手研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
21	BATJARGAL Biligsaikhan	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	分担
22	細井浩一	メタバースを用いた日本の伝統文化および生活文化の状況学習支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2015年4月	2020年3月	分担

23	前田亮	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	代表
24	松葉涼子	北斎版本オンラインカタログ・レゾネ作成と公開	若手研究(B)	2015年4月	2019年3月	代表
25	矢野桂司	多様な主体による参加型GISの構築と応用に関する研究(分担)	基盤研究(A)	2013年4月	2017年3月	分担
26	矢野桂司	GIS活用による地域福祉アクターの情報共有化と多文化社会におけるネットワーク構築(分担)	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担
27	矢野桂司	人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究(分担)	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
28	矢野桂司	歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	代表
29	矢野桂司	「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	分担
30	矢野桂司	時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2021年3月	分担
31	山口欧志	文化遺産のデジタルドキュメンテーションとこれを活用した景観考古学の展開	若手研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
32	李増先	明治期の極東における和刻本漢籍の流通	研究活動スタート支援	2015年8月	2017年3月	代表
33	李増先	における和刻本漢籍流通の実態解明に関する研究	若手B	2017年4月	2020年3月	代表
34	脇田航	身体知解析に基づく複合現実型技能伝承システムの構築	若手研究(A)	2016年4月	2019年3月	代表
35	脇田航	マイクロレベルの分光画像計測による織物の光学特性の解析	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担
36	赤間亮	在欧州絵入版本・浮世絵のカタログリング	基盤研究(B)	2012年4月	2017年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	亀田和子	日本ポピュラー文化に関する研究	Student Activity Fee Allocation, The Center of Student Life, Hawai'i Pacific University	2017年3月	2017年3月	代表
2	亀田和子	アニメ研究(シンポジウム)	National Endowment for the Humanities funding	2016年4月	2016年5月	代表
3	亀田和子	アニメ研究(Kawaii Kon)	National Endowment for the Humanities funding	2016年4月	2016年4月	代表
4	加茂瑞穂	「国際的な型紙研究の基盤構築と活用に関する研究」	立命館大学研究高度化推進制度・研究成果国際発信プログラム	2016年4月	2017年3月	分担
5	加茂瑞穂	「京都における伝統産業資料の保存と活用プロジェクト」	立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 研究拠点形成支援プログラム	2016年3月	2017年3月	分担
6	斎藤進也	立方体型情報ビューアによる視覚的データ管理手法の構築	科学研究費補助金[基盤研究C]	2015年4月	2018年3月	代表

7	鈴木桂子	糊流し染「マドレー染」の復活における記録と希少染色技法を活かした新たなものづくりの可能性と事業化について	京都産学公連携機構の「文理融合・文系産学連携促進事業」・京都産学公連携機構助成金	2015年7月	2016年6月	代表
8	鈴木桂子	日本文化資源のグローバルアクション	文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2015年7月	2019年3月	分担
9	鈴木桂子	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点	文部科学省 共同利用・共同研究拠点形成費補助金	2014年7月	2017年3月	分担
10	鈴木桂子	デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用	文部科学省 共同利用・共同研究拠点形成費補助金	2014年7月	2017年3月	分担
11	鈴木桂子	国際的な型紙研究の基盤構築と活用に関する研究	立命館大学研究高度化推進制度研究成果国際発信プログラム	2016年4月	2017年3月	代表
12	鈴木桂子	京都における伝統産業資料の保存と活用プロジェクト	立命館大学 日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 研究拠点形成支援プログラム	2016年4月	2017年3月	分担
13	瀬戸寿一	オープン・スマートシティを実現するソーシャル・ビッグデータ利活用・還流基盤	情報通信研究機構ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発 課題B	2014年5月	2018年3月	分担
14	瀬戸寿一	場の知、市民の知を有機的に組み込んだ次世代型市民協働プラットフォームの開発	情報通信研究機構ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発 課題D	2016年10月	2019年3月	分担
15	瀬戸寿一	オープンデータを用いた国土基盤情報の維持管理に関する研究	国土技術研究センター研究開発助成	2016年2月	2018年3月	分担
16	BATJARGAL Biligsaikhan	白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果	三菱財団人文科学研究助成	2014年10月	2016年9月	分担
17	福田一史	Japan's videogames between the local and the global	DAAD: Partnerships with Japan and Korea (PaJaKo)	2017年3月	2019年2月	分担
18	福田一史	平成28年度 ゲームアーカイブ所蔵館連携に関わる調査事業	文化庁: 平成28年度メディア芸術連携促進事業 連携促進事業	2016年7月	2017年2月	分担
19	福田一史	ゲーム産業生成におけるイノベーションの分野横断的なオーラルヒストリー事業	文化庁: 平成28年度メディア芸術連携促進事業 連携促進事業	2016年7月	2017年2月	分担
20	福田一史	ゲームデータベースを対象とする典拠管理と利活用に関する調査	文化庁: 平成28年度メディア芸術アーカイブ推進支援事業	2016年7月	2017年3月	分担
21	前田亮	日本文化資源のグローバルアクション	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2015年4月	2020年3月	分担
22	松葉涼子	北斎落款の研究	太田記念美術館「浮世絵研究助成」	2016年3月	2017年3月	代表
23	脇田航	バイラテラル制御による触知覚解析に基づく多自由度多指触知覚操作の解析・再現	広島市立大学情報科学研究科共同研究プロジェクト	2015年6月	2017年3月	代表
24	田中覚	有形・無形文化財のデジタルドキュメンテーションと利活用のための先端的技術の開発(アート・リサーチセンター)	立命館大学 研究所重点	2016年4月	2017年3月	代表
25	矢野桂司	歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの国際展開	研究推進プログラム 科研費獲得推進型	2016年7月	2017年3月	代表
26	矢野桂司	ジオデザインの国際ワークショップ	立命館大学研究高度化推進制度研究成果国際発信プログラム	2016年4月	2017年3月	代表

27	矢野桂司	多様な地理空間情報の可視化に関する研究	学外研究制度	2016年4月	2016年9月	代表
28	赤間亮	日本古典籍のSNS型電子テキストアーカイブ・プラットフォームの構築研究	研究推進プログラム 科研費獲得推進型	2016年6月	2017年3月	代表
29	赤間亮	日本・アジア研究の基盤環境構築のためのデジタル・アーカイブ教育プログラム開発と国際ワークショップ実施	研究成果国際発信プログラム	2016年4月	2017年3月	代表
30	赤間亮	文化資源デジタルアーカイブの国際貢献と持続可能化方策確立(アート・リサーチセンター)	研究所重点研究プログラム	2016年4月	2017年3月	代表
31	赤間亮	日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点	研究拠点形成支援プログラム	2016年4月	2017年3月	代表
32	三須祐介	東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性	橋本循記念会 研究活動助成	2016年7月	2017年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	脇田航	歩行感覚呈示装置及び呈示方法	公立大学法人広島市立大学	筆頭発明者	2017-038857			日本